

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。コミュニケーション力は単に情報の受信や発信という技術的な事だけではなく、その背景にある文化を理解することでもある。よって、さまざまな教材を通してスピーキング・リスニングの技術習得と共に異文化理解も深めていく。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	3	Reading a short story	Time to Read U. 1
	4	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	5	Reading a short story	Time to Read U. 2
	6	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	7	Reading a short story	Time to Read U. 3
	8	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	9	Reading a short story	Time to Read U. 4
	10	What Do We Need?	Good Morning U. 2
	11	Reading a short story	Time to Read U. 5
	12	What Do We Need?	Good Morning U. 3
	13	Good Morning World Unit 1-3	Review U. 1-3
	14	Oral Exam 1	Practice U. 1-3
	15	Midterm Exam	Review U. 1-3
	16	Vacation!	Good Morning U. 4
	17	Reading a short story	Time to Read U. 6
	18	Vacation!	Good Morning U. 4
	19	Reading a short story	Time to Read U. 7
	20	Vacation!	Good Morning U. 4
	21	Reading a short story	Time to Read U. 8
	22	Heroes	Good Morning U. 5
	23	Reading a short story	Time to Read U. 9
	24	Heroes	Good Morning U. 5
	25	Reading a short story	Time to Read U. 10
	26	The Mind	Good Morning U. 6
	27	The Mind	Good Morning U. 6
	28	The Mind	Good Morning U. 6
	29	Good Morning World Unit 4-6	Review U. 4-6
30	Oral Exam 2	Practice U. 1-3	
31	Final Exam	Review U. 4-6	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません)
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>学科でクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しないと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Quiz 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学習した英語の基礎を土台に、後期に英語IIへ進む。英語IIは内容が濃くなり、また、応用も求められるので、夏休み中にインターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習を続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, one-minute speech, definition game, listening comprehension, essay writing 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。	メッセージ 4技能の中の listening & speaking 及び異文化理解に焦点を当てます。
	到達目標 sentence-level の意味処理を確実にできる。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む)
	テキスト・参考文献・資料など 別途連絡します。 別途連絡します。
	学びの手立て MP3 や smartphone を利用して例文を繰り返し聴く。 Internet や図書館を活用して課題に答える。
	評価 ① 授業出席度 (原則皆勤) ② dictation/speech/listening comprehension/essay writing ③ 英語の理解と使用 ④ 質疑応答 ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験 ⑥ 受講姿勢

学びの継続	次のステージ・関連科目 Oral Communication I と関連づける。 English II につなげる。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [経済・環境・企業・産情(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。</p> <p>2) 英語のスピーカーに対して即座にリアクションできるようリスニング力と質問力を高める。</p>	<p>2年生から4年生まで、異なる学部の学生が、この英語 I クラスを受講しています。お互いの専門性を尊重し、互いに学びあう学習環境を大事にしましょう。人見知りせず、積極的に授業へ参加（発言や会話の練習）してください。そのための事前準備（音読・暗唱の練習）ができる学生の受講を期待します。</p>
	到達目標	
	1. 自信をもって英語を音読できる。 2. 英語でのコミュニケーションがある程度できる。 3. 英語が好きになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション（授業の進め方の説明と小テスト）	シラバスの確認
	2	イントロダクション（小テスト返却）	自己紹介・他者紹介について
	3	Unit 1 Icebreaking	Section1 を予習
	4	Unit 1 Icebreaking	Section2 "
	5	Unit 1 Icebreaking 発表1	Section3 "
	6	Unit 1 Icebreaking 小テスト1	Section4 "
	7	Unit 2 Describing People (Character)	Section1 を予習
	8	Unit 2 Describing People (Character)	Section2 "
	9	Unit 2 Describing People (Character) 発表2	Section3 "
	10	Unit 2 Describing People (Character) 小テスト2	Section4 "
	11	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section1 を予習
	12	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section2 "
	13	Unit 3 Describing People (Appearance) 発表3	Section3 "
	14	Unit 3 Describing People (Appearance) 小テスト3	Section4 "
	15	テスト対策	テスト勉強（リスニング）
	16	中間テスト (Unit 1-3)	テスト勉強（リスニング）
	17	テスト振り返り・音読	音読
	18	Unit 4 Inviting People	Section1 を予習
	19	Unit 4 Inviting People	Section2 "
	20	Unit 4 Inviting People 発表4	Section3 "
	21	Unit 4 Inviting People 小テスト4	Section4 "
	22	Unit 5 Giving Directions	Section1 を予習
	23	Unit 5 Giving Directions	Section2 "
	24	Unit 5 Giving Directions 発表5	Section3 "
	25	Unit 5 Giving Directions 小テスト5	Section4 "
	26	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section1 を予習
	27	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section2 "
	28	Unit 6 Complaining & Apologizing 発表6	Section3 "
	29	Unit 6 Complaining & Apologizing 小テスト6	Section4 "
30	テスト対策・振り返り	テスト勉強	
31	期末テスト (Unit4-6)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 『Communication Builder 〈Revised Edition〉 (改訂版)』南雲堂、ISBN 978-4-523-17632-9 (本体2100円+税)</p>
	<p>学びの手立て ★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、他の学部学科の学生とも協動的であること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。</p>
	<p>評価 中間・期末テスト30% 小テスト30% 発表 (ペアワークによるスピーキングテスト) 30% 平常点10% (授業への貢献)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 英語Ⅱ (2) 資料収集や検索の仕方、プレゼンテーション作成方法や発表方法などを学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Franciscoの総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Franciscoの総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成12	English Ace Unit 1～8の総復習	
31	英語の基礎力養成8～12（期末点検）	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で挑むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性 「リスニング・リーディング力を重点的に訓練する」と同時に、他のスキル向上も行い、総合的な基礎英語力を付けることを目指す。

[/—一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [法律・地行]	1年	c. uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に遭遇するトピックやタスクを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習します。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p>	<p>今まで英語が苦手だった学生が英語に興味を持てるような、そして今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるような、そんな授業にしていきたいと思っています。See you in class!</p>

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができる。 興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。 英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	スラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 1	Unit 1の復習& Viva SF Ch. 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 2	Unit 2の予習& Viva SF Ch. 2復習
	6	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 3	Unit 2の復習& Viva SF Ch. 3復習
	8	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 4	Unit 3予習& Viva SF Ch. 4復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 5	Unit 3の復習 Viva SF Ch. 5復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3の復習 Viva SF 1-5復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 1-5	Unit 4の予習
	14	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 6	Unit 4の復習& Viva SF Ch. 6復習
	16	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 7	Unit 1-4復習& Viva SF Ch. 7復習
	18	中間テスト Unit 1-4	「英語関連の本を読もう」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 8	Unit 5の予習& Viva SF Ch. 8復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 9	Unit 5の復習& Viva SF Ch. 9復習
	22	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 10	Unit 6予習& Viva SF Ch. 10復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習& Viva SF Ch. 6-10復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 6-10	Unit 6の復習
	26	Unit 6: Every day	Unit 6の復習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の復習
30	Unit 7: My favorites	Unit 1-7の復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、TA（助手）として活動したものの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の英語IIは夏休みを挟むので英語Iで学んだことを積極的に活用し、日常生活でも英語を使うことを心がけてほしい。英語IIでは学んだことを応用したり、英語を使っの課題やタスクが増えるのでそれに備えて様々な体験をし、視野を広げてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブローケンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit1(1): Lifestyles(現在形)	U1 Grammar Ref.
	3	DVD教材1: Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit1(2): Lifestyles	U1 Digibook
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	U2(1): Leisure(現在進行形)	U2 Grammar Ref.
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	U2(2): Leisure	U2 Digibook
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	U3(1): Getting along(依頼/許可)	U3 Grammar Ref.
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	U3(2): Getting along	U3 Digibook
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	U4(1): Interests(過去形)	U4 Grammar Ref.
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	U4(2): Interests	U4 Digibook
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	U5(1): Telling a story(過去進行形)	U5 Grammar Ref.
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	U5(2): Telling a story	U5 Digibook
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	U8(1): Rules(Possibility/Obligation)	U8 Grammar Ref.
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	U8(2): Rules(Possibility/Obligation)	U8 Digibook
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary	
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough PLUS 2 (Macmillan LanguageHouse, 2012年) ¥2,500(税別)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 外国人旅行者に英語で対応できるような、コミュニケーションスキルを習得する。 日本の文化や習慣などに関する平易な英文を読み取ることができるようにする。	メッセージ 日常英会話がスムーズにできるようにうまく工夫されたテキストです。日本での生活上必要な英語の語彙も増大します。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの準備	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit1: For here, or to go?	Sp activity U1
	3	DVD教材1: Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit2: How many are in your party?	Sp activity U2
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	Unit3: I'll be right back.	Sp activity U3
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	Unit4: Would you like me to heat this up?	Sp activity U4
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	Unit5: Your total comes to 3,240 yen.	Sp activity U5
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	Unit6: I'm really sorry for the trouble.	Sp activity U6
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	Unit7: Do you have a reservation?	Sp activity U7
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	Unit8: Wi-Fi is available in this area.	Sp activity U8
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	Unit9: I highly recommend Sakura Restaurant.	Sp activity U9
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	Unit10: Turn right at the first intersection.	Sp activity U10
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	Unit11: Take the subway to Hommachi.	Sp activity U11
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	Unit12: First, put the money into the machine.	Sp activity U12
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など You're Welcome! Communication with Tourists Made Easy (CENGAGE Learning, 2016年) ¥2,000(税別)</p>
	<p>学びの手立て (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価 中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブテキストの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	Funny Laws:Chapter 1	予習テストの準備 1課
	3	Viva! SF:Chapter 1	1課の復習
	4	Funny Laws:Chapter 1	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF:Chapter 2	2課の復習
	6	Funny Laws:Chapter 2	予習テストの準備 2課
	7	Viva! SF:Chapter 3	3課の復習
	8	Funny Laws:Chapter 2	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF:Chapter 4	4課の復習
	10	Funny Laws:Chapter 3	予習テストの準備 3課
	11	Viva! SF:Chapter 5	5課の復習
	12	Funny Laws:Chapter 3	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF:Review Chapter 1-5	1-5課の復習
	14	Mid-term Examination: Viva SF Chapter 1-5	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws:Chapter 4	予習テストの準備 4課
	18	Viva! SF:Chapter 6	6課の復習
	19	Funny Laws:Chapter 4	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF:Chapter 7	7課の復習
	21	Funny Laws:Chapter 5	予習テストの準備 5課
	22	Viva! SF:Chapter 8	8課の復習
	23	Funny Laws:Chapter 5	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF:Chapter 9	9課の復習
	25	Funny Laws:Chapter 6	予習テストの準備 6課
	26	Viva! SF:Chapter 10	10課の復習
	27	Funny Laws:Chapter 6	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF:Review Chapter 6-10	6-10課の復習
	29	Funny Laws:Review	1-6課の重要事項確認
30	Memorization:Viva!SF	会話の暗記	
31	Final Examination:Viva!Chapter 6-10		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination: 25% × 2 = 50% 3-minute speech: 20% Prep Quiz: 30%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室では、既存の教材「Viva! San Francisco」と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるように演習する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サバイバルから英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・ 海外に出かけても、いろいろな場面で困らない英語表現が身につく。 ・ 日本人の苦手な発音を克服する。 ・ 英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・ e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 ・ 英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる 	<p>必要な教材はLearning Management System (LMS)に掲載し、準備する。そのアクセスや使い方などの詳細は、初回のガイダンスで説明する。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また、欠席したり教材プリントを紛失したりした場合には、そこから自分で印刷してテストなどに備えること。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンス I _ 普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンス II _ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS4を演習	LMSを使って学習する
	4	Viva Ch. 1、洋楽#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS6を演習。S4を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 2、洋楽#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS7を演習。S6を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 3、洋楽#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS10を演習。S7を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 4、洋楽#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS13を演習。S10を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 5、洋楽#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義 I @普通教室 S13を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義 I @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッション I : 前半つぶやきテスト5回分・・・S4, S6, S7, S10, S13	LMSを使って学習する
	16	追試セッション I : 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS14を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 6、洋楽#06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS17を演習。S14を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 7、洋楽#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS18を演習。S17を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 8、洋楽#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS20を演習。S18を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 9、洋楽#09	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	つぶやきS22を演習。S20を小テスト。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch. 10、洋楽#10	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	特別講義 II @普通教室。S22を小テスト。	LMSを使って学習する
	28	特別講義 II @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	追試セッション II : 後半つぶやきテスト5回分・S14, S17, S18, S20, S22	LMSを使って学習する
30	追試セッション II : 後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#10	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義 III : 総合演習 + 追試調整 + 最終成績確認	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、必ず“microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。“Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。</p>
	<p>評価</p> <p>出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学习)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースで扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語を意識して復習し、また好きな人はカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、楽しく英語を学んでほしい。さらに英文法も知識が欠けたところは、よく復習してほしい。本学の豊富なe-learning教材も大いに活用し、最後の実力テストを意識して学んでほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 読む・書く・聞く・話すの4技能のうち、主に「聞く」「話す」を中心に、簡単な日常会話で聞き手と話し手が双方向に理解できる。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	1年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に話されている自然な英語をたくさん聞き、英語表現の特徴を掴み、ペアレッスン等を通して学習する。そして相手の英語を理解し、自分の言いたいことを的確に英語で表現できるようにする。「聞き」「話す」に重点を置くが、英語を発信するoutputの力を養うために、英語によるone minute speechとwritingの課題を課す。</p>	<p>このテキストは、日常会話のトピックが題材となっており、会話の練習にとってもよい。またlistening内容もバラエティーに富んでおり、生の英語に触れることができるよう構成されている。ペアレッスンのときは、恥ずかしがらずに真剣に取り組んでほしい。他の課題も同様で、提出日を守ること。毎日少しずつ学習することが、英語能力を高める秘訣である。</p>
到達目標	<p>① Listeningの内容が理解できる。 ② 英語で1分間スピーチすることができる (one minute speech)。 ③ 言いたいことを英語で正しく書くことができる (two writing assignments)。 ④ 教科書で学ぶ文法や単語を習得する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをよく読むこと
	2	Introduction 1	U. 1 (pp. 7-8)
	3	Introduction 2	pp9-11 writing課題
	4	Introductions 3 listening quiz	U. 1 (p. 12)
	5	Shopping 1	U. 3 (pp. 23-24)
	6	Shopping 2	U. 3 (pp. 25-27)
	7	Shopping 3 listening quiz	U. 3 (p. 28)
	8	Food 1, one minute speech starts	U. 4 (pp. 31-32)
	9	Food 2	U. 4 (pp. 33-35)
	10	Food 3 listening quiz	U. 4 (p. 36)
	11	Music 1	U. 5 (pp. 39-40)
	12	Music 2	U. 5 (pp. 41-43)
	13	Music 3 listening quiz	U. 5 (p. 44)
	14	Free time 1	U. 6 (pp. 47-48)
	15	Free time 2	U. 6 (pp. 49-51)
	16	Free time 3 listening quiz	U. 6 (p. 52)
	17	Travel 1	U. 7 (pp. 59-60)
	18	Travel 2	p61-63 writing課題
	19	Travel 3 listening quiz	U. 7 (p. 64)
	20	Sports 1	U. 8 (pp. 67-71)
	21	Sports 2 listening quiz	U. 8 (p. 72)
	22	Friends 1	U. 9 (pp. 75-76)
	23	Friends 2	U. 9 (pp. 77-79)
	24	Friends 3 listening quiz	U. 9 (p. 80)
	25	Work 1	U. 10 (pp. 83-84)
	26	Work 2	U. 10 (pp. 85-87)
	27	Work 3 listening quiz	U. 10 (p. 88)
	28	Personal Tech 1	U. 12 (pp. 99-100)
	29	Personal Tech 2	U. 12 (pp. 101-103)
30	Personal Tech 3 listening quiz	U. 12 (p. 104)	
31	Final Examination	Unit 2, 11 以外	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Textbook: Nice Talking with You 1 (Cambridge, 2011)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修の心構え> 講義中の私語・携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。電子辞書はOK。毎回、出席を取ります。遅刻3回で1回の欠課とみなします。欠席が10回になると単位は与えません。 ・学びを深めるために> 講義前には単語や基本的な表現などは調べておくこと。自分で工夫してノート作りをすることを勧めます。教科書の音声教材は、CALL教室のPCに保存してあります。講義時間内だけでは足りないので、空き時間を利用して何度も聴くようにして下さい。英語は毎日少しずつ学習することが言語能力を高めることにつながります。
学 び の 継 続	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participation 5% (到達目標①②③④) 2. Listening quizzes 30% (到達目標①) 3. One minute speech 20% (到達目標②) 4. Writing assignments 15% (到達目標③) 5. Final examination 30% (到達目標④)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEFL/TOEIC、留学等の目標を持つことを勧めます。また、インターネットで調べたり、好きな俳優や歌手などの英語のブログを読んだり、音楽や映画等を通して学んだり、いろいろな方法でできるだけ多くの生の英語に触れるようにすると英語能力の向上に役立つでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [地域環境]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>この授業では、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを実施して貰う。</p>	<p>これまでに学んだことを振り返り、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。</p>
到達目標	<p>1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合がある。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	授業概要と学習の進め方、導入	WL1 Unit 1-Aの活動準備
	2	World Link 1 (WL1) Unit 1-A	VSF Chapter 1の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 1	WL1 Unit 1-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 1-B、スピーチ	VSF Chapter 2の活動準備
	5	VSF Chapter 2	WL1 Unit 2-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 2-A、スピーチ	VSF Chapter 3の活動準備
	7	VSF Chapter 3	WL1 Unit 2-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 2-B、スピーチ	VSF Chapter 4の活動準備
	9	VSF Chapter 4	WL1 Unit 3-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 3-A、スピーチ	VSF Chapter 5の活動準備
	11	VSF Chapter 5	WL1 Unit 3-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 3-B、スピーチ	VSF Chapters 1-5の復習
	13	VSF まとめと応用1	WL1 Units 1-3の復習
	14	WL1 Review: Units 1-3	VSF Chapters 1-5の復習
	15	VSF 中間確認テスト	WL1 Units 1-3、Reviewの復習
	16	WL1 中間確認テスト	VSF Chapter 6の活動準備
	17	VSF Chapter 6	WL1 Unit 4-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 4-A、スピーチ	VSF Chapter 7の活動準備
	19	VSF Chapter 7	WL1 Unit 4-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 4-B、スピーチ	VSF Chapter 8の活動準備
	21	VSF Chapter 8	WL1 Unit 5-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 5-A、スピーチ	VSF Chapter 9の活動準備
	23	VSF Chapter 9	WL1 Unit 5-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 5-B、スピーチ	VSF Chapter 10の活動準備
	25	VSF Chapter 10	WL1 Unit 6-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 6-A、スピーチ	VSF Chapters 6-10の復習
	27	VSF まとめと応用2	WL1 Unit 6-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 6-B、スピーチ	予告に従った活動準備
	29	リスニング・スピーキング発展練習	WL1 Units 4-6の復習
30	WL1 Review: Units 4-6	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 中間確認テスト2回(VSF・WL): 計30%、(3) スピーチ: 5%、(4) LMSでの解答・提出物・課題: 35% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期開講の英語IIは英語Iと連続した内容を扱っており、原則的に続けて履修すること。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [英米]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業では、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを実施して貰う。	これまでに学んだことを振り返り、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方、導入	WL1 Unit 1-Aの活動準備
	2	World Link (WL1) Unit 1-A	VSF Chapter 1の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 1	WL1 Unit 1-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 1-B、スピーチ	VSF Chapter 2の活動準備
	5	VSF Chapter 2	WL1 Unit 2-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 2-A、スピーチ	VSF Chapter 3の活動準備
	7	VSF Chapter 3	WL1 Unit 2-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 2-B、スピーチ	VSF Chapter 4の活動準備
	9	VSF Chapter 4	WL1 Unit 3-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 3-A、スピーチ	VSF Chapter 5の活動準備
	11	VSF1 Chapter 5	WL1 Unit 3-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 3-B、スピーチ	VSF Chapters 1-5の復習
	13	VSF まとめと応用1	WL1 Units 1-3の復習
	14	WL1 Review: Units 1-3	VSF Chapters 1-5の復習
	15	VSF 中間確認テスト	WL1 Units 1-3、Reviewの復習
	16	WL1 中間確認テスト	VSF Chapter 6の活動準備
	17	VSF Chapter 6	WL1 Unit 4-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 4-A、スピーチ	VSF Chapter 7の活動準備
	19	VSF Chapter 7	WL1 Unit 4-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 4-B、スピーチ	VSF Chapter 8の活動準備
	21	VSF1 Chapter 8	WL1 Unit 5-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 5-A、スピーチ	VSF Chapter 9の活動準備
	23	VSF1 Chapter 9	WL1 Unit 5-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 5-B、スピーチ	VSF Chapter 10の活動準備
	25	VSF Chapter 10	WL1 Unit 6-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 6-A、スピーチ	VSF Chapters 6-10の復習
	27	VSF 最終まとめと応用	WL1 Unit 6-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 6-B、スピーチ	予告に従った活動準備
	29	リスニング・スピーキング発展練習	WL1 Units 4-6の復習
30	WL1 Review: Units 4-6	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 中間確認テスト2回(VSF・WL): 計30%、(3) スピーチ: 5%、(4) LMSでの解答・提出物・課題: 35% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期開講の英語IIは英語Iと連続した内容を扱っており、原則的に続けて履修すること。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [企業システム]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B 5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 1
	3	Unit 1, Building Blocks 1 & Speaking Strategy	" "
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 1, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 2
	7	Unit 1, Word Bank & Unit 2 Building Blocks 1	" "
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 2, Speaking Strategy & Building Blocks 2	" "
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 3
	11	Unit 2, Wrap It Up & Word Bank	" "
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 3, Building Blocks 1 & Speaking Strategy	" "
	14	Unit 3, Building Blocks 2 & Wrap It Up	Mid-term exam 準備
	15	Unit 3, Word Bank & review Unit 1	" "
	16	Review Unit 2 & 3 and Mid-term Examination	
	17	Unit 4, Building Blocks 1 & Speaking Strategy	Sub text, Unit 4
	18	Chapter 6, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 4, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	20	Chapter 7, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 4, Word Bank & Unit 5, Building Blocks 1	Sub text, Unit 5
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 5, Speaking Strategy & Building Blocks 2	" "
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 5, Wrap It Up & Word Bank	Sub text, Unit 6
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 6, Building Blocks & Speaking Strategy	" "
	28	Unit 6, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	29	Unit 6, Word Bank and review Unit 4	Final exam 準備
30	Review Unit 5 & 6 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： Take It Easy (Unit 1～6) 出版社：センゲージ ラーニング ¥2,000 + 税 サブテキスト： It's time to Read! (Unit 1～6) 出版社：南雲堂 ¥1,300 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：20% 提出物：20% 出席：10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 II 「関連科目」 英語 III 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [産業情報]	1 年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
	到達目標 (1) 英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2) 英語発音の変化を自らも発音出来る。(3) 英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4) 英作文能力を向上させる。(5) 英語コミュニケーション能力全般を向上させる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 1	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 1	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 1	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 2	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 3	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 2	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 2	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 4	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 5	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 3	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 3	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 6	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 7	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 4	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 4	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 8	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	At the Movies	教材を当日配布
	23	Field of Dreams	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 9	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 5	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 5	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 6	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>
	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況/クラス活動参加度 10% 到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価 ・筆記テスト 75% 到達目標(1)(3)(4)(5)を評価 ・会話テスト 15% 到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ダグラス ドライスタット [社文・人福]	1年	https://bee.okiu.ac.jp/mod/page/view.php?id=7062	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>This is a comprehensive four-skills course with emphasis on autonomous learning. Students are encouraged to acquire not only a knowledge of English, but also communication skills and strategies for sustainable autonomous learning.</p>	<p>This class focuses on the acquisition of practical, personal, sustainable strategies for language learning suited to a variety of learning styles. In this class, you can assemble a set of learning strategies for your short-term and long-term foreign language learning goals.</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Build a solid foundation of basic English, with focus on listening and speaking. 2. Clarify short- and medium-term goals and strategies for English learning. 3. Develop the confidence to communicate actively. 4. Prepare for participation in the globalized economy. 	

学びの実践	<p>学びのヒント</p> <p>授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む)</p> <p>1/2 eLearning Registration, orientation. Discussion: Hurdles to learning English 3/4 Portfolio, Document your history. Dream in English warm up Practice greetings. 5 Diving into extensive reading Read one book. 6 Dream in English Unit 1, Part 1 Review the text 7 Viva! San Francisco Ch. 1, portfolio, 他 Portfolio page 2 8 Dream in English Unit 1, Part 2 Online assignment 9 Viva! San Francisco Ch. 2, portfolio, 他 Portfolio page 3 10 Dream in English Unit 1, Part 3 Online assignment 11 Viva! San Francisco Ch. 3, portfolio, 他 Portfolio page 4 12 Dream in English Unit 1, Part 4 Online assignment 13 Viva! San Francisco Ch. 4, portfolio, 他 Portfolio page 5 14 Dream in English Unit 2, Part 1 Online assignment 15 Viva! San Francisco Ch. 5, portfolio, 他 Portfolio page 6 16 Dream in English Unit 2, Part 2 Online assignment 17/18 Mid-term assessment 19 Viva! San Francisco Ch. 6, portfolio, 他 Portfolio page 7 20 Dream in English Unit 2, Part 3 Online assignment 21 Viva! San Francisco Ch. 7, portfolio, 他 Portfolio page 8 22 Dream in English Unit 2, Part 4 Online assignment 23 Viva! San Francisco Ch. 8, portfolio, 他 Portfolio page 9 24 Dream in English Unit 3, Part 1 Online assignment 25 Viva! San Francisco Ch. 9, portfolio, 他 Portfolio page 10 26 Dream in English Unit 3, Part 2 Online assignment 27 Viva! San Francisco Ch. 10, portfolio, 他 Portfolio page 11 28 Dream in English Unit 3, Part 3 Online assignment 29/30/31Final assessment</p>
	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>必須</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. XReading subscription 2. Dream in English (オンライン教科書) 3. Viva! San Francisco (オンライン教材) 4. 英和・和英辞典
	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to be prepared for each class. Active collaboration during group work and pair work is essential for a good grade. Enthusiastic class participation is highly evaluated. Utilization of the eLearning system and active engagement with classmates online is also part of the final evaluation.</p>
	<p>評価</p> <p>Attendance - 5%, Class participation - 25%, Quizzes - 10%, Portfolio - 20%, Mid-term - 20%, Final exam - 20%</p>

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II, 英語III, 英語IV, 外国語資料購読演習。英語合宿、英検に挑戦する。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 デビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English la
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for your
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジヨン ターバート [英米]	1年	ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills.	メッセージ As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to speak English.
	到達目標 ・You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. ・You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. ・You will be able to give a short presentation in English.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Self-introductions	Buy text/file
	2	Wh-questions	Wh-questions
	3	Unit 1 (Classroom help language)	Write sentences
	4	Unit 1 (Classroom help language)	Study for quiz
	5	Unit 2 (Talking about family)	Study for quiz
	6	Unit 2 (Talking about family)	Interview prep
	7	Describing people	Vocabulary
	8	Describing people	Family tree
	9	Describing people	Study for quiz
	10	Unit 3 (Gestures)	Conversation
	11	Unit 3 (Gestures)	Abilities
	12	Unit 4 (Abilities)	Abilities
	13	Unit 4 (Abilities)	Jobs
	14	Jobs	Jobs
	15	Jobs	Vocabulary
	16	Unit 5 (Emotions)	Study for quiz
	17	Unit 5 (Emotions)	Emotions
	18	Unit 6 (Prepositions of place)	Prepositions
	19	Unit 6 (Prepositions of place)	Prepositions
	20	Unit 6 (Prepositions of place)	Study for quiz
	21	Unit 6 (Prepositions of place)	Rules
	22	Rules	Permission
	23	Unit 7 (Permission)	Interview prep
	24	Prefer/like better	Interview prep
	25	Health and sickness	Health
	26	Health and sickness	Review
	27	Review	Interview prep
	28	Interview test	Interview prep
	29	Interview test	Review
30	Final exam	Review	
31	Listening test		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as handouts. Students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence • Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • Students should use English in class as much as possible. • Syllabus is subject to change.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes (50%) Interview test (20%) Homework (10%) Attendance/participation (10%) Presentation (10%)</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in English II, as well as Oral Communication II.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-仲宗根 朋美 [社文・人福・日文(2年以上)]	2年	E-mail: ptt015@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	speaking, listeningの両分野において、基礎的な英語力をつけていくという目的に加えて、言語としての英語の認識、それを習得する上で大前提である、英語は、人の感情、または、思考を表現する媒体であるという認識と、大学における語学学習とのリンクをしっかり意識して、英語学習を教科としてではなく、言葉の学習であるという認識を高めてもらう。	普通教室とCALL教室を、週一回づつ、使用する。普通教室における授業においては、主に教科書を使用した授業展開が、なされ、CALL教室を使用する場合は、listeningに重点的に焦点をあてて、洋楽等、生の英語の中に見える文化や社会の説明を交えながら、表出している感情を、英語を通して体感することにより、語感を鍛え、養成していくことを目指す。

学びの準備	到達目標
	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的なリスニング能力が付き、平易なレベルの日常会話を理解できるようになる。 ● 平易なレベルの一般会話に必要な語彙が、理解できるようになる。 ● 感情的体験を通して、英語を言語として意識するようになり、実感を持って、コミュニケーションの手段として捉えることが、できるようになる。 ● 授業に積極的に参加する学習姿勢を養うことで、自主学習のモチベーションを高める。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：講義概要の説明・グループディスカッションの登録	シラバスの通読
	2		
	3		
	4	第2週～7週：	
	5	月曜 教科書のlistening section および洋楽等、生の英語の教材を使用した	事前に配布されるハンドアウトの
	6	言語としての英語を体感し、語感を鍛える学習のための授業展開を	教材および資料に目を通して
	7	行う。	予習してくる。
	8		
	9	木曜 教科書を中心とした授業展開を行っていく。	テキストの該当ユニットの予習
	10		
	11	第8週：中間テスト実施・返却	中間テストの準備
	12		
	13	第9週～15週：第2週～7週と同様、月曜、CALL教室、木曜、普通教室の授業	ハンドアウト教材及び資料の予習
	14		
	15	第16週：期末テスト実施・返却	期末テストの準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>初回講義にて、担当教官よりテキストの具体的な情報公開（タイトルや出版社）が、あります。特別な事情がない限り、それまでには、朝野書房にテキストが、入荷するように、手配しますので、初回講義後、すぐに購入できるように、あらかじめ金銭的な準備をしてきてください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 辞書を持参すること・提出物は、必ずA4Aのルーズリーフを使用すること・A4のファイル綴りを準備すること「求められる態度・遅刻などの扱い」 3回の遅刻で1回の欠課とみなし、10回欠課した時点で、不可が、確定する。30分以上遅刻したら欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とみなす。欠席届は前日までに提出し、当日やむを得ず欠席する場合には、授業開始の16:20 までに、必ずメールで連絡すること。</p> <p>② 「学びを深めるために」事前に配布されるハンドアウトの教材や資料に、授業を受講する前には、必ず目を通して、テキストの予習も怠らず、受講後は、学習内容にくまなく目を通して、理解を深めるようにする。</p>
	<p>評価</p> <p>「評価基準」 中間テスト 35% 期末テスト 35% 授業参加貢献度 30% 中間・期末テストは、授業中に取り扱った学習内容を理解したかを図る、ということ目的とする。よって、授業中に使用したテキストおよび副教材から直接出題される。授業参加貢献度については、授業内で提供される学習内容をどれだけ積極的に取り組んだか、ということが評価の対象となり、具体的には、出席は、勿論のこと、授業内で提出を求められる課題提出をやったかどうか、という点が、評価の対象となる。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目 「上位科目」英語II (Focus:listening & speaking)</p> <p>(2) 国際交流に役立つコミュニケーション能力の養成、というカリキュラムポリシーと関連して、英語Iで培ったlisteningとspeakingに特化した基礎的な英語力を、同分野で、更に発展させる、という姿勢を持って、来学期に提供される英語IIに臨んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [経済]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1他	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト	スピーチテスト原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Francisco 総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Francisco 総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成12	English Ace Unit 1の復習	
31	英語の基礎力養成8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出欠状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [産業情報]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	BBC WPD: Unit 1 Laughter	単語予習 1 課
	3	BBC WPD: Unit 1 Laughter	1 課の復習・単語テスト準備
	4	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	5	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	6	BBC WPD: Unit 2 Hats	単語予習 2 課
	7	BBC WPD: Unit 2 Hats	2 課の復習・単語テスト準備
	8	Test: Unit 1, 2	1, 2 課テストの準備
	9	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	単語予習 3 課
	10	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	3 課の復習・単語テスト準備
	11	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	単語予習 4 課
	12	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	4 課の復習・単語テスト準備
	13	Test: Unit 3, 4	3, 4 課テストの準備
	14	BBC WPD: Unit 6 Athens	単語予習 6 課
	15	BBC WPD: Unit 6 Athens	6 課の復習・単語テスト準備
	16	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	単語予習 7 課
	17	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	7 課の復習・単語テスト準備
	18	Test: Unit 6, 7	6, 7 課のテスト準備
	19	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	単語予習 8 課
	20	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	8 課の復習・単語テスト準備
	21	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	22	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	23	Test: Unit 8, "Food Inc."	8 課のテスト準備、コメントを作成
	24	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	単語予習 9 課
	25	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	9 課の復習・単語テスト準備
	26	Test: Unit 9	9 課のテスト準備
	27	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
	28	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
29	Review	総復習	
30	Review	総復習	
31	Conclusion	コメントのまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」(南雲堂) 2014年 2500円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項の Recherche、及びコメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests:50% Vocabulary Quiz:20% 3-minute Speech:10% Comments on the Movies:20%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニオール デビッド [経済]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須な英語コミュニケーションを養成する。そのねらいをもとに、英文法、語彙力、リスニング、スピーキング等あらゆる活動を行う。	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

到達目標	日常生活で英語コミュニケーションができる
------	----------------------

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	英語自己紹介 他	
	3	ラボ室オリエンテーション 他	
	4	英語のしくみ(概要) 他	
	5	ラボ室学習 他	
	6	英語基礎力養成	
	7	ラボ室学習 他	
	8	英語基礎力養成	
	9	ラボ室学習 他	
	10	英語基礎力養成	
	11	ラボ室学習 他	
	12	英語基礎力養成	
	13	ラボ室学習 他	
	14	英語基礎力養成	
	15	ラボ室学習 他	
	16	中間テスト	
	17	ラボ室学習 他	
	18	英語基礎力養成	
	19	ラボ室学習 他	
	20	英語基礎力養成	
	21	ラボ室学習 他	
	22	英語基礎力養成	
	23	ラボ室学習 他	
	24	英語基礎力養成	
	25	ラボ室学習 他	
	26	英語基礎力養成	
	27	ラボ室学習 他	
	28	英語基礎力養成	
	29	ラボ室学習 他	
30	期末テスト		
31	総点検：振り返り等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介します。購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。</p>
	<p>評価 大学の成績評価規定に準じ、あらゆる活動やテストを総合したうえで成績を評価します。なお、欠席や遅刻は減点対象となります。注意してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次へのステップは英語 II です。英語を現実社会で使うことです</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行 [法律・地行(2年以上)]	2年	ptt900@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。	マルチメディア教材を利用した課題を与え、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。積極的に取り組み、英語に親しんで欲しい。外国語学習は継続が重要です。毎回予習をし、遅刻、欠席がないよう努力して欲しい。

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。 2. 英語の語彙力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。 3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 英語によるクラスメート紹介	
	2	Same and Different, Day 1	Unit 1のオンライン学習
	3	Same and Different, Day 2	Unit 1のオンライン学習
	4	Same and Different, Day 3	Unit 1のオンライン学習
	5	Same and Different, Day 4	Unit 1のオンライン学習
	6	Taking Risks, Day 1	Unit 2のオンライン学習
	7	Taking Risks, Day 2	Unit 2のオンライン学習
	8	Taking Risks, Day 3	Unit 2のオンライン学習
	9	Taking Risks, Day 4	Unit 2のオンライン学習
	10	Enjoy the Ride, Day 1	Unit 3のオンライン学習
	11	Enjoy the Ride, Day 2	Unit 3のオンライン学習
	12	Enjoy the Ride, Day 3	Unit 3のオンライン学習
	13	Enjoy the Ride, Day 4	Unit 3のオンライン学習
	14	Unusual Destination, Day 1	Unit 4のオンライン学習
	15	Unusual Destination, Day 2	Unit 4のオンライン学習
	16	Unusual Destination, Day 3	Unit 4のオンライン学習
	17	Unusual Destination, Day 4	Unit 4のオンライン学習
	18	中間テスト	Unit 5のオンライン学習
	19	Our Changing World, Day 1	Unit 5のオンライン学習
	20	Our Changing World, Day 2	Unit 5のオンライン学習
	21	Our Changing World, Day 3	Unit 5のオンライン学習
	22	Facing Challenges, Day 1	Unit 6のオンライン学習
	23	Facing Challenges, Day 2	Unit 6のオンライン学習
	24	Facing Challenges, Day 3	Unit 6のオンライン学習
	25	Lost and Found, Day 1	Unit 7のオンライン学習
	26	Lost and Found, Day 2	Unit 7のオンライン学習
	27	Lost and Found, Day 3	Unit 7のオンライン学習
	28	A New View, Day 1	Unit 8のオンライン学習
	29	A New View, Day 2	Unit 8のオンライン学習
30	A New View, Day 3	Unit 8のオンライン学習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Fettig, Cindy & Kathy Najafi. (2013). Pathways Foundations: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Heinle-Cengage ELT.</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。 2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。 3. 予習（特にオンライン学習）を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てること。 4. 学期中、1/3（10回）以上授業を欠席した場合は、自動的に不可の成績となります。 5. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを実施します。（5～7回、20%） 2. 中間テスト（30%） 3. 期末テスト（30%） 4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します（20%）
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講する「英語II」の講義で更に英語のリスニングとスピーキング力を鍛えます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5% 課題・・・20% クイズ・・・25% 中間テスト・・・25% (ショートスピーチ) 期末テスト・・・25% (パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション)</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 4・土 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。</p> <p>到達目標</p> <p>基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。</p>	<p>語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。 講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。 提出物は、指定がない限り、B 5 サイズのルーズリーフを使用すること。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Subtext:Lesson 1
	3	Unit 1	"
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 1	Lesson 2
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 1	"
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	Lesson 3
	9	Unit 2	"
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 2	Lesson 4
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 3	"
	14	Unit 3	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 1~3	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 4	Lesson 5
	18	Chapter 6, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 4	"
	20	Chapter 7, Viva! San Francisco	Lesson 6
	21	Unit 4	"
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 5	Lesson 7
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 5	"
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	Report 作成
	27	Unit 5 & 6	"
	28	Unit 6	"
	29	Unit 6	Final exam 準備
30	Review Unit 4~6 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： Let's Introduce Japanese Culture! (Unit 1~6) 出版社：英宝社 ¥2,000 + 税 サブテキスト： 5分間 POPULAR MUSIC (Lesson 1~7) 出版社：南雲堂 ¥700 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：20% 提出物：20% 出席：10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [日文]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
-------	---	--

到達目標	(1) 英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2) 英語発音の変化を自らも発音出来る。(3) 英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4) 英作文能力を向上させる。(5) 英語コミュニケーション能力全般を向上させる。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 1	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 1	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 1	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 2	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 3	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 2	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 2	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 4	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 5	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 3	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 3	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 6	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 7	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 4	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 4	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 8	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	At the Movies	教材を当日配布
	23	Field of Dreams	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 9	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 5	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 5	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 6	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況/クラス活動参加度 10% 到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価 ・筆記テスト 75% 到達目標(1)(3)(4)(5)を評価 ・会話テスト 15% 到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>

※ポリシーとの関連性 英語 I はコミュニケーション向上を目的としているので、その趣旨に的した授業を行う。

[/ 一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火 2・金 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗 [地域環境]	1 年	E-mai:l-shimamura@hotmail.co.jp	

学びの準備	ねらい 教材を通して、英語を読む・聞く・理解する・話すなどのコミュニケーションの能力向上を目的とする。授業形態は、週 2 回のうち、火曜日はテキストの「Viva! San Francisco」を使い、DVD と併用してアメリカ現地における、それぞれの場面に応じた英会話を学ぶ。金曜日は主に「Spoken American English」の CD を利用して会話の練習をする。	メッセージ 高校までは、英会話を中心とした授業があまりなされていない。しかし、「英語が話せたらいいな」という学生の言葉をよく耳にする。本講義では、視覚・聴覚を中心に英会話の習得を目的として授業を進めていく。また「Full House」(英語学習用 DVD: 日本語・英語同時字幕) で、映画のセリフを聞き取る練習をする。
-------	---	---

到達目標 この講義を通年に渡り履修することによって、これまで培ってきた読み・書きの英語の力を生かし、実際に英語を使って自己アピールや他とのコミュニケーションが可能な限り到達させることを目標とする。それによって、英語圏の国々への留学や卒業後の就職にも大いに役立つと考える。ペアワークやグループワークなどを通して英語活用能力を高める。
--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業内容の説明 (授業形態・テキスト) / Viva! San Francisco Chap1	Viva! Chap1 復習
	2	Review & Conversation Lesson 1	Con. L1 復習
	3	Review & Viva! San Francisco Chap 2	Viva! Chap 2 復習
	4	Review & Conversation Lesson 2	Con. L 2 復習
	5	Review & Viva! San Francisco Chap 3	Viva! Chap 3 復習
	6	Review & Conversation Lesson 3	Con. L 3 復習
	7	Review & Full House (DVD) Part 1	Dialogue 練習
	8	Review & Viva! San Francisco Chap 4	Viva! Chap 4 復習
	9	Review & Conversation Lesson 4	Con. L 4 復習
	10	Review & Viva! San Francisco Chap 5	Viva! Chap 5 復習
	11	Review & Conversation Lesson 5	Con. L 5 復習
	12	Review & Viva! San Francisco Chap 6	Viva! Chap 6 復習
	13	Review & Viva! San Francisco Chap 7	Viva! Chap 7 復習
	14	Review & Viva! San Francisco Chap 8	Viva! Chap 8 復習
	15	Review & Viva! San Francisco Chap 9 & 10	Viva! Chap 9 復習
	16	TEST (Written Test & 英語でスキット: ペアワーク・グループワーク)	Viva! Chap 10 復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト(1) Viva! San Francisco (¥2,100)</p> <p>(2) Spoken American English (プリント配布)</p> <p>(3) DVD Full House (授業で視聴)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 学内のPCで、Viva! San Francisco にアクセスし、何度も繰り返し視聴してリスニングの力をつけることが大切。</p> <p>(2) 疑問に思う事があれば、必ず質問してほしい。</p> <p>(3) CDやDVDから聞こえてくる英語の後についてリピートやシャド-イングなど声に出して練習すること。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 毎回小テストを行なう 30%</p> <p>(2) 定期テスト(Viva! San Francisco / Spoken Amerikan English / Full House) 40%</p> <p>(3) ペアワーク、グループワーク 30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) まずは英検準2級から初めて、少なくとも2級レベルの学習につなげ、検定試験を受けてほしい。他の英語科目も積極的に受講し、実力を付けてほしい。</p> <p>(2) 受講終了後は、積極的に英語を聞いたり、話したりする機会をみつけて英会話を上達させてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・土 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1 年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成1	英語による自己紹介
	3	Viva! San Francisco Ch.1 他	役立つ英語表現 (1)
	4	英語の基礎力養成2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2 他	役立つ英語表現 (2)
	6	英語の基礎力養成3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3 他	役立つ英語表現 (3)
	8	英語の基礎力養成4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4 他	役立つ英語表現 (4)
	10	英語の基礎力養成5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5 他	役立つ英語表現 (5)
	12	英語の基礎力養成6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1~5総まとめ (テスト)	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6 他	役立つ英語表現 (6)
	16	英語の基礎力養成1~7 (中間点検)	English Ace Unit 1~6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7 他	役立つ英語表現 (7)
	18	英語の基礎力養成8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8 他	役立つ英語表現 (8)
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9 他	役立つ英語表現 (9)
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10 他	役立つ英語表現 (10)
	24	英語の基礎力養成9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11 他	役立つ英語表現 (11)
	26	英語の基礎力養成10	語彙力アップ (1)
	27	Viva! San Francisco 総まとめ(1)	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成11	語彙力アップ (2)
	29	Viva! San Francisco 総まとめ(2)	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成12	English Ace Unit 1~8の総復習	
31	英語の基礎力養成8~12 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出席確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。コミュニケーション力は単に情報の受信や発信という技術的な事だけではなく、その背景にある文化を理解することでもある。よって、さまざまな教材を通してスピーキング・リスニングの技術習得と共に異文化理解も深めていく。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	3	Reading a short story	Time to Read U. 1
	4	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	5	Reading a short story	Time to Read U. 2
	6	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	7	Reading a short story	Time to Read U. 3
	8	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	9	Reading a short story	Time to Read U. 4
	10	What Do We Need?	Good Morning U. 2
	11	Reading a short story	Time to Read U. 5
	12	What Do We Need?	Good Morning U. 3
	13	Good Morning World Unit 1-3	Review U. 1-3
	14	Oral Exam 1	Practice U. 1-3
	15	Midterm Exam	Review U. 1-3
	16	Vacation!	Good Morning U. 4
	17	Reading a short story	Time to Read U. 6
	18	Vacation!	Good Morning U. 4
	19	Reading a short story	Time to Read U. 7
	20	Vacation!	Good Morning U. 4
	21	Reading a short story	Time to Read U. 8
	22	Heroes	Good Morning U. 5
	23	Reading a short story	Time to Read U. 9
	24	Heroes	Good Morning U. 5
	25	Reading a short story	Time to Read U. 10
	26	The Mind	Good Morning U. 6
	27	The Mind	Good Morning U. 6
	28	The Mind	Good Morning U. 6
	29	Good Morning World Unit 4-6	Review U. 4-6
30	Oral Exam 2	Practice U. 1-3	
31	Final Exam	Review U. 4-6	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません)
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>学科でクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しないと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Quiz 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学習した英語の基礎を土台に、後期に英語IIへ進む。英語IIは内容が濃くなり、また、応用も求められるので、夏休み中にインターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習を続けて欲しい。</p>

※ポリシーとの関連性 「リスニング・リーディング力を重点的に訓練する」と同時に、他のスキル向上も行い、総合的な基礎英語力をつけることを目指す

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c. uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に遭遇するトピックやタスクを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習します。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p>	<p>今まで英語が苦手だった学生が英語に興味を持てるような、そして今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるような、そんな授業にしていきたいと思っています。See you in class!</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができる。 興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。 英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	スラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 1	Unit 1の復習& Viva SF Ch. 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 2	Unit 2の予習& Viva SF Ch. 2復習
	6	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 3	Unit 2の復習& Viva SF Ch. 3復習
	8	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 4	Unit 3予習& Viva SF Ch. 4復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 5	Unit 3の復習 Viva SF Ch. 5復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3の復習 Viva SF 1-5復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 1-5	Unit 4の予習
	14	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 6	Unit 4の復習& Viva SF Ch. 6復習
	16	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 7	Unit 1-4復習& Viva SF Ch. 7復習
	18	中間試験 Unit 1-4	「英語関連の本を読もう」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 8	Unit 5の予習 & Viva SF Ch. 8復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 9	Unit 5の復習 & Viva SF Ch. 9復習
	22	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 10	Unit 6予習& Viva SF Ch. 10復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習& Viva SF Ch. 6-10復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 6-10	Unit 6の復習
	26	Unit 6: Every day	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の復習
30	Unit 7: My favorites	Unit 1-7の復習	
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介します。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、TA（助手）として活動したもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の英語IIは夏休みを挟むので英語Iで学んだことを積極的に活用し、日常生活でも英語を使うことを心がけてほしい。英語IIでは学んだことを応用したり、英語を使っての課題やタスクが増えるのでそれに備えて様々な体験をし、視野を広げてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [地域環境]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを目指す。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。</p>	<p>クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生も更なる前進を目指してほしい。</p>
到達目標	<p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤英米の文化的側面について学ぶ。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解し、実生活に役立てることができる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	オリエンテーション	シラバスの読み合わせ
	2	『出会いの場面』の会話：聞き取り・ペア練習	ハンドアウト
	3	Unit 1, および、名前の由来のスピーチの準備	場所を尋ねる
	4	Unit 1	沖縄国際大学の提供科目について
	5	スピーチ：1分間スピーチ	スピーチをする・聴く
	6	Unit 2	わからない言葉を探ねる
	7	Unit 2	〃
	8	Unit 3	日程の確認
	9	Unit 3	〃
	10	Unit 4	クラブ活動について
	11	Unit 4	〃
	12	Unit 5	アルバイトについて
	13	Unit 5	〃
	14	Unit 6	相手の意見を聞く
	15	Unit 6	〃
	16	中間試験	
	17	Unit 1～Unit 6のまとめ	試験の解答
	18	Unit 7	暮らしの中のルールについて
	19	Unit 7	〃
	20	Unit 8	行き方や道を探ねる・教える
	21	Unit 8	〃
	22	Unit 9	外国人観光客をサポートする
	23	Unit 9	〃
	24	Unit 10	夏休みの計画をたてる
	25	Unit 10	〃
	26	Unit 11	レポートの締め切りを探ねる
	27	Unit 11	〃
	28	Unit 12	成績について話す
	29	Unit 12	〃
30	期末試験		
31	Unit 7～Unit 12のまとめ	試験の解答&前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など ①英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部） ②ハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおいに歓迎する。</p>
	<p>評価 1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）：30% 2) 中間・期末テスト：30% 3) クラス・ラボ室での活動、およびレポートなど：40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなど、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須の英語力（語彙、文法）をみにつけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SabFranciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケー	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	英語自己紹介 他	
	3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	
	4	英語のしくみ（概要） 他	
	5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	
	6	英語基礎力養成1	
	7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	
	8	英語基礎力養成2	
	9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	
	10	英語基礎力養成3	
	11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	
	12	英語基礎力養成4	
	13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	
	14	英語基礎力養成5	
	15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	
	16	英語基礎力養成6	
	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他	
	18	英語基礎力養成1-6中間点検	
	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他	
	20	英語基礎力養成7	
	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他	
	22	英語基礎力養成8	
	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他	
	24	英語基礎力養成9	
	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）	
	26	英語基礎力養成10	
	27	スピーキングテスト関連1	
	28	英語基礎力養成11	
	29	スピーキングテスト関連2	
30	英語基礎力養成7-11期末点検 他		
31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1Viva!SanFrancisco大八木廣人他マカランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書 (オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください</p>
	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech, 発表, 出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 II です。英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は, warm-up 終了後, 課題である暗唱例文の practice を pair で行います。続いて, quick response に移ります。それから, 語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は, group に分かれ, 暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。	メッセージ 自分の英語を駆使して, 表現する楽しさを味わおう。
	到達目標 sentence-level の英文を即座に reproduce できる。 日常生活に関わる事柄を discourse-level で表現できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む)
	テキスト・参考文献・資料など 別途連絡します。 別途連絡します。
	学びの手立て 複数の辞書を活用して答えを導きだそう。 English-English dictionary を役立てる。
	評価 ① 授業出席度 (原則皆勤) ② quick response / debate ③ 英語の理解と運用 ④ 質疑応答 ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験 ⑥ 受講姿勢

学びの継続	次のステージ・関連科目 Oral Communication II と関連づける。 English III につなげる。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [法律・地行]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい 前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習します。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指します。	メッセージ 英語Iで学んだことを活かし、更に英語を活用して様々な活動をして行きたいと思っています。英語は活用してこそ楽しいのです！ See you in class!
	到達目標 ・英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。 ・英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 ・タスクを行うための情報収集・問題解法を自ら考え、実行できる。 ・授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 ・英語の必要性を自分なりに考え、それに沿った行動ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション& 英語I 復習	英語Iの復習&Unit 8 の予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 11	Unit 8復習& Viva SF Ch.11復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 12	Unit 9予習& Viva SF Ch.12復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 13	Unit 9復習& Viva SF Ch.13復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 14	Unit 10予習& Viva SF Ch.14復
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 15	Unit 10復習 Viva SF Ch.15復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Viva SF11-15復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 11-15	Unit 11予習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 16	Unit 11の復習& Viva SF Ch.16復習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11-14& Viva SF Ch.16復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 17	Unit 5予習& Viva SF Ch. 8復習
	18	中間試験 Unit 8-11	「英語を使う職業について」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 18	Unit 12予習& Viva SF Ch.18復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 19	Unit 12復習& Viva SF Ch.19復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit12 復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 20	Unit 13予習& Viva SF Ch. 20復習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13& Viva SF Ch.16-20復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 16-20	Unit 13復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 14予習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習
30	Unit 14: It's time to go!	Unit 8-14復習	
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book , Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、TA（助手）として活動したものの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語IIIやIVなどの上のレベルを受講することを含め、自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション維持にもなるので是非チャレンジしてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [英米]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰに引き続き、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、反復的な練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度の発表を実施して貰う。	既習の知識・技能を固めつつ、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方、英語Ⅰの復習	WL1 Unit 7-Aの活動準備
	2	World Link (WL1) Unit 7-A	VSF Chapter 11の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 11	WL1 Unit 7-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 7-B、発表	VSF Chapter 12の活動準備
	5	VSF Chapter 12	WL1 Unit 8-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 8-A、発表	VSF Chapter 13の活動準備
	7	VSF Chapter 13	WL1 Unit 8-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 8-B、発表	VSF Chapter 14の活動準備
	9	VSF Chapter 14	WL1 Unit 9-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 9-A、発表	VSF Chapter 15の活動準備
	11	VSF Chapter 15	WL1 Unit 9-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 9-B、発表	VSF Chapters 11-15の復習
	13	VSF まとめと応用1	WL1 Units 7-9、Reviewの復習
	14	WL1 Review: Units 7-9	VSF Chapters 11-15の復習
	15	VSF 中間確認テスト	WL1 Units 7-9の復習
	16	WL1 中間確認テスト	VSF Chapter 16の活動準備
	17	VSF Chapter 16	WL1 Unit 10-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 10-A、発表	VSF Chapter 17の活動準備
	19	VSF Chapter 17	WL1 Unit 10-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 10-B、発表	VSF Chapter 18の活動準備
	21	VSF Chapter 18	WL1 Unit 11-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 11-A、発表	VSF Chapter 19の活動準備
	23	VSF Chapter 19	WL1 Unit 11-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 11-B、発表	VSF Chapter 20の活動準備
	25	VSF Chapter 20	WL1 Unit 12-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 12-A、発表	VSF Chapters 16-20の復習
	27	VSF まとめと応用2	WL1 Unit 12-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 12-B、発表	予告に従った活動準備
	29	リスニング・スピーキング発展練習	WL1 Units 10-12の復習
30	WL1 Review: Units 10-12	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、未登録者については初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 中間確認テスト2回(VSF・WL): 計30%、(3) スピーチ: 5%、(4) LMSでの解答・提出物・課題: 35% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>総合的な英語力向上の次のステップとして、英語III・英語IVを始め他の英語共通科目の積極的な受講を勧める。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [地域環境]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅱに引き続き、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、反復的な練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度の発表を実施して貰う。	既習の知識・技能を固めつつ、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方	WL1 Unit 7-Aの活動準備
	2	World Link 1 (WL1) Unit 7-A	VSF Chapter 11の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 11	WL1 Unit 7-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 7-B、発表	VSF Chapter 12の活動準備
	5	VSF Chapter 12	WL1 Unit 8-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 8-A、発表	VSF Chapter 13の活動準備
	7	VSF Chapter 13	WL1 Unit 8-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 8-B、発表	VSF Chapter 14の活動準備
	9	VSF Chapter 14	WL1 Unit 9-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 9-A、発表	VSF Chapter 15の活動準備
	11	VSF Chapter 15	WL1 Unit 9-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 9-B、発表	VSF Chapters 11-15の復習
	13	VSF まとめと応用1	WL1 Units 7-9、Reviewの復習
	14	WL1 Review: Units 7-9	VSF Chapters 11-15の復習
	15	VSF 中間確認テスト	WL1 Units 7-9の復習
	16	WL1 中間確認テスト	VSF Chapter 16の活動準備
	17	VSF Chapter 16	WL1 Unit 10-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 10-A、発表	VSF Chapter 17の活動準備
	19	VSF Chapter 17	WL1 Unit 10-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 10-B、発表	VSF Chapter 18の活動準備
	21	VSF Chapter 18	WL1 Unit 11-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 11-A、発表	VSF Chapter 19の活動準備
	23	VSF Chapter 19	WL1 Unit 11-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 11-B、発表	VSF Chapter 20の活動準備
	25	VSF Chapter 20	WL1 Unit 12-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 12-A、発表	VSF Chapters 16-20の復習
	27	VSF まとめと応用2	WL1 Unit 12-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 12-B、発表	予告に従った活動準備
	29	リスニング・スピーキング発展練習	WL1 Units 10-12の復習
30	WL1 Review: Units 10-12	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、未登録者については初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 中間確認テスト2回(VSF・WL): 計30%、(3) スピーチ: 5%、(4) LMSでの解答・提出物・課題: 35% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>総合的な英語力向上の次のステップとして、英語III・英語IVを始め他の英語共通科目の積極的な受講を勧める。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [地域環境]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き後期も、大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを旨とする。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤文化的側面を習得する。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解できる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	<p>クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生もいるだろうが、どちらにしても、更なる一歩前進を目指してほしい。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&テーマに沿ってはがきを書く：『夏休みはどう過ごし	シラバスの読み合わせ
	2	Unit 13 & 『夏休みはどうすごしましたか』の会話	ハンドアウト
	3	Unit 13	アドバイスを求める・提案する
	4	Video : Let's learn how to learn	『学び方』を学ぶ
	5	Unit 14	就職活動について
	6	Unit 14	〃
	7	Unit 15	就職面接をうける
	8	Unit 15	〃
	9	Unit 16	学園祭について
	10	Unit 16	〃
	11	Unit 17	学食で食事をする（料理について）
	12	Unit 17	〃
	13	Unit 18	祝日について
	14	Unit 18	〃
	15	中間試験	
	16	Unit 13~Unit 18のまとめ	試験の解答
	17	Unit 19	携帯電話・メールについて
	18	Unit 19	〃
	19	Unit 20	調べて、クラスで発表する
	20	Unit 20	〃
	21	Unit 21	クリスマス・カードを書く
	22	Unit 21	〃
	23	Unit 22	冬休みの過ごし方
	24	Unit 22	〃
	25	Unit 23	今年の目標を語る
	26	Unit 23	〃
	27	Unit 24	お別れ会の計画
	28	Unit 24	〃
	29	Video : Monster Maker	映画のあらすじをまとめる
30	期末試験		
31	Unit 19 ~Unit 24のまとめ	試験の解答 & 後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など ①英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部） ②ハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおいに歓迎します。</p>
	<p>評価 1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）：30% 2) 中間・期末テスト：30% 3) クラス・ラボ室での活動、およびレポートなど：40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなどのような、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	スピーチの練習
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事を行っている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事を行っている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブテキストの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。グループ・プレゼンテーションでは英語でのプレゼンを経験し、慣れる。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	Funny Laws:Chapter 7	予習テストの準備 7課
	3	Viva! SF:Chapter 11	11課の復習
	4	Funny Laws:Chapter 7	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF:Chapter 12	12課の復習
	6	Funny Laws:Chapter 8	予習テストの準備 8課
	7	Viva! SF:Chapter 13	13課の復習
	8	Funny Laws:Chapter 8	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF:Chapter 14	14課の復習
	10	Funny Laws:Chapter 9	予習テストの準備 9課
	11	Viva! SF:Chapter 15	15課の復習
	12	Funny Laws:Chapter 9	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF:Review Chapter 11-15	11-15課の復習
	14	Mid-term Examination: Viva SF Chapter 11-15	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws:Chapter 10	予習テストの準備 10
	18	Viva! SF:Chapter 16	16課の復習
	19	Funny Laws:Chapter 10	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF:Chapter 17	17課の復習
	21	Funny Laws:Chapter 11	予習テストの準備 11
	22	Viva! SF:Chapter 18	18課の復習
	23	Funny Laws:Chapter 11	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF:Chapter 19	19課の復習
	25	Funny Laws:Chapter 12	予習テストの準備 12
	26	Viva! SF:Chapter 19	19課の復習
	27	Funny Laws:Chapter 12	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF:Chapter 20	20課の復習
	29	Funny Laws:Review	7-12課の重要事項確認
30	Viva!SF:Review	11-16課のまとめ	
31	Final Examination:Viva!Chapter 6-10	期末試験の準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によっては、シラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination: 25% × 2 = 50% Group Presentation: 20% Prep Quiz: 30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [企業システム]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 7
	3	Unit 7, Building Blocks 1 & Speaking Strategy	" "
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 7, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 8
	7	Unit 7, Word Bank & Unit 8 Building Blocks 1	" "
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 8, Speaking Strategy & Building Blocks 2	" "
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 9
	11	Unit 8, Wrap It Up & Word Bank	" "
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 9, Building Blocks 1 & Speaking Strategy	" "
	14	Unit 9, Building Blocks 2 & Wrap It Up	Mid-term exam 準備
	15	Unit 9, Word Bank & review Unit 7~9	" "
	16	Mid-term Examination	
	17	Unit 10, Building Blocks 1& Speaking Strategy	Sub text, Unit 10
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 10, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 10, Word Bank& Unit 11, Building Blocks 1	Sub text, Unit 11
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 11, Speaking Strategy& Building Blocks 2	" "
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 11, Wrap It Up & Word Bank	Sub text, Unit 12
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 12, Building Blocks & Speaking Strategy	" "
	28	Unit 12, Building Blocks 2 & Wrap It Up	" "
	29	Unit 12, Word Bank and review Unit 10	Final exam 準備
30	Review Unit 11 & 12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>下記テキストとサブテキストは、前期英語 I に使用したのと同じ。</p> <p>テキスト： Take It Easy (Unit 7~12) 出版社：センゲージ ラーニング ¥2,000 + 税</p> <p>サブテキスト： It's time to Read! (Unit 7~12) 出版社：南雲堂 ¥1,300 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。</p> <p>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：20%</p> <p>提出物：20% 出席：10%</p> <p>講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 III, 英語 IV 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。</p> <p>到達目標</p> <p>基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。</p>	<p>語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。 講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。 提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Subtext:Lesson 8
	3	Unit 7	"
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 7	Lesson 9
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 7	"
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	Lesson 10
	9	Unit 8	"
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 8	Lesson 11
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 9	"
	14	Unit 9	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 7~9	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 10	Lesson 12
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 10	"
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	Lesson 13
	21	Unit 10	"
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 11	Lesson 14
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 11	"
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	Lesson 15
	27	Unit 11 & 12	"
	28	Unit 12	"
	29	Unit 12	Final exam 準備
30	Review Unit 10~12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>下記テキスト・サブテキストは、前期英語 I に使用したのと同じ。</p> <p>テキスト： Let's Introduce Japanese Culture! (Unit 7~12) 出版社：英宝社 ¥2,000 + 税</p> <p>サブテキスト： 5分間 POPULAR MUSIC (Lesson 8~15) 出版社：南雲堂 ¥700 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。</p> <p>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：20%</p> <p>提出物：20% 出席：10%</p> <p>講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 III & 英語 IV 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [日文]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
-------	---	--

到達目標	(1)英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2)英語発音の変化を自らも発音出来る。(3)英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4)英作文能力を向上させる。(5)英語コミュニケーション能力全般を向上させる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 10	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 6	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 7	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 11	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 12	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 7	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 8	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 13	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 14	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 8	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 9	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 15	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 16	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 9	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 10	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 17	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	ABCDJ	教材を当日配布
	23	Stand by Me	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 18	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 10	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 11	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 12	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>								
	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語セン テンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>								
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>・出席状況/クラス活動参加度</td> <td>10%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・筆記テスト</td> <td>75%</td> <td>到達目標(1)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・会話テスト</td> <td>15%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(5)を評価</td> </tr> </table>	・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価	・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価	・会話テスト	15%
・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価							
・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価							
・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価							
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目								

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗 [地域環境]	1年	E-mai:l-shimamura@hotmail.co.jp	

学びの準備	ねらい 教材を通して、英語を読む・聞く・理解する・話すなどのコミュニケーションの能力向上を目的とする。授業形態は、周2回のうち、火曜日はテキストの「Viva!San Francisco」を使い、DVDと併用してアメリカ現地における、それぞれの場面に応じた英会話を学ぶ。金曜日は主に「Spoken American English」のCDを利用して会話の練習をする。	メッセージ 本講義では、英語Ⅰと同様に視覚・聴覚を中心に、英語でのコミュニケーション習得を目的として授業を進めていく。英語でのプレゼンテーションや簡単な通訳（英一日）の練習も行う。
	到達目標 英語Ⅰに引き続き、英語Ⅱを履修することによって、これまで培ってきた読み・書きの英語の力を生かし、実際に英語を使って自己アピールや他とのコミュニケーションが可能な限り到達させることを目標とする。それによって、英語圏の国々への留学や卒業後の就職にも大いに役立つと考える。プレゼンテーションや通訳の練習を通して、会話のみでなく、より内容のある英語活用能力を高める。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Viva! San Francisco Chap 11	Viva! Chap 11復習
	2	Review & Conversation Lesson 6	Con. L 6 復習
	3	Review & Viva! San Francisco Chap 12	Viva! Chap 12復習
	4	Review & Conversation Lesson 7	Con. L 7 復習
	5	Review & Viva! San Francisco Chap 13 & 14	Viva! Chap 13/14
	6	Review & Conversation Lesson 8	Con. L 8 復習
	7	Review & Viva! San Francisco Chap 15 & 16	Viva! Chap 15/16
	8	Review & Full House (DVD) Part 2	Dialogue 練習
	9	Review & Viva! San Francisco Chap 17 & 18	Viva! Chap 17/18
	10	Review & Conversation Lesson 9	Con. L 9 復習
	11	Review & Viva! San Francisco Chap 19 & 20	Viva! Chap 19/20
	12	Review & Full House (DVD) Part 3 & 4	Dialogue 練習
	13	Review & Conversation Lesson 10	Con. L 10 復習
	14	プレゼンテーション準備	
	15	プレゼンテーション	
	16	TEST(Written Test)	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト</p> <p>(1) Viva! San Francisco</p> <p>(2) Spoken American English</p> <p>(3) Full House (DVD) プリント配布。その他。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 学内のPCで、Viva! San Francisco にアクセスして、何度も繰り返し視聴してリスニングの力をつけることが大切。</p> <p>(2) どんなに些細なことでも、疑問に思う事があったら、躊躇せずに質問してほしい。</p> <p>(3) CDやDVDのあとについてリピートやシャド-イングをする場合、必ず声を出すこと。文を読むだけ、あるいは聞くだけでは言語は上達しない。</p> <p>(4) 授業中は他のインターネットにアクセスしない。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 毎回小テストを行なう（前授業のReview） 30%</p> <p>(2) 定期テスト（Viva! San Francisco / Spoken American English / Full House） 40%</p> <p>(3) プレゼンテーション、その他 30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 英語の雑誌・小説・新聞なども読み、単語力や文章力をつけると共に、映画などを見て英語表現をより多く増やしてほしい。他の英語科目も積極的に受講し、実力を付けてほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 need to prepare for upper-level course work , and for participation in the increasingly globalized work places

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ダゲラス トライスタット [社文・人福]	1年	https://bee.okiu.ac.jp/mod/page/view.php?id=7062	

学びの準備	ねらい This is a comprehensive four-skills course with emphasis on autonomous learning. Students are encouraged to acquire not only a knowledge of English, but also communication skills and strategies for sustainable autonomous learning.	メッセージ This class focuses on the acquisition of practical, personal, sustainable strategies for language learning suited to a variety of learning styles. In this class, you can assemble a set of learning strategies for your short-term and long-term foreign language learning goals.
	到達目標 1. Build a solid foundation of basic English, with focus on listening and speaking. 2. Clarify short- and medium-term goals and strategies for English learning. 3. Develop the confidence to communicate actively. 4. Prepare for participation in the globalized economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む) 1/2 eLearning Registration, orientation, Discussion: Practical learning strategies 3/4 Review portfolio, Dream in English warm up Practice greetings. 5 Re-evaluate extensive reading methods Read one book. 6 Dream in English Unit 4, Part 1 Review the text 7 Viva! San Francisco Ch. 11, Homestay Unit 1 Review the text 8 Dream in English Unit 4, Part 2 Online assignment 9 Viva! San Francisco Ch. 12, Homestay Unit 2 Review the text 10 Dream in English Unit 4, Part 3 Online assignment 11 Viva! San Francisco Ch. 13, Homestay Unit 3 Review the text 12 Dream in English Unit 14, Part 4 Online assignment 13 Viva! San Francisco Ch. 4, Homestay Unit 4 Review the text 14 Dream in English Unit 15, Part 1 Online assignment 15 Viva! San Francisco Ch. 15, Homestay Unit 5 Review the text 16 Dream in English Unit 5, Part 2 Online assignment 17/18 Mid-term assessment 19 Viva! San Francisco Ch. 16, Homestay Unit 6 Review the text 20 Dream in English Unit 5, Part 3 Online assignment 21 Viva! San Francisco Ch. 17, Homestay Unit 7 Review the text 22 Dream in English Unit 5, Part 4 Online assignment 23 Viva! San Francisco Ch. 18, Homestay Unit 8 Review the text 24 Dream in English Unit 6, Part 1 Online assignment 25 Viva! San Francisco Ch. 19, Homestay Unit 9 Review the text 26 Dream in English Unit 6, Part 2 Online assignment 27 Viva! San Francisco Ch. 20, Homestay Unit 10 Review the text 28 Dream in English Unit 6, Part 3 Prepare presentation 29/30/31Final assessment
	テキスト・参考文献・資料など 必須 1. XReading subscription 2. Dream in English (オンライン教科書) 3. Viva! San Francisco (オンライン教材) 4. Homestay Adventures (オンライン教材) 5. 英和・和英辞典
	学びの手立て Students are expected to be prepared for each class. Active collaboration during group work and pair work is essential for a good grade. Enthusiastic class participation is highly evaluated. Utilization of the eLearning system and active engagement with classmates online is also part of the final evaluation.
	評価 Attendance 5%, Class participation 25%, Quizzes 10%, Presentation 20%, Mid-term 20%, Final exam 20%

学びの継続	次のステージ・関連科目 英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 外国語資料購読演習。英語合宿、英検・TOEICに挑戦する, 留学。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [産業情報]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
	到達目標 (1)英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2)英語発音の変化を自らも発音出来る。(3)英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4)英作文能力を向上させる。(5)英語コミュニケーション能力全般を向上させる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 10	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 6	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 7	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 11	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 12	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 7	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 8	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 13	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 14	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 8	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 9	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 15	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 16	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 9	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 10	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 17	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	ABCDJ	教材を当日配布
	23	Stand by Me	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 18	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 10	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 11	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 12	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>									
学びの実践	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>									
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>・出席状況/クラス活動参加度</td> <td>10%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・筆記テスト</td> <td>75%</td> <td>到達目標(1)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・会話テスト</td> <td>15%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(5)を評価</td> </tr> </table>	・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価	・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価	・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価								
・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価								
・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価								
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>									

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [経済・環境・企業・産情(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。</p> <p>2) 英語のスピーカーに対して即座にリアクションできるようにリスニング力と質問力を高める。</p>	<p>2年生から4年生まで、異なる学部の学生が、この英語Ⅱクラスを受講しています。お互いの専門性を尊重し、互いに学びあう学習環境を大事にしましょう。人見知りせず、積極的に授業へ参加（発言や会話の練習）してください。そのための事前準備（音読・暗唱の練習）ができる学生の受講を期待します。</p>
	到達目標	
	1. 自信をもって英語を音読できる。 2. 英語でのコミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション（授業の進め方の説明と小テスト）	シラバスの確認
	2	イントロダクション（前期の復習） English As International Language	音読
	3	Unit 7 Giving Advice	Section1 予習
	4	Unit 7 Giving Advice	Section2 "
	5	Unit 7 Giving Advice 発表1	Section3 "
	6	Unit 7 Giving Advice 小テスト1	Section4 "
	7	Unit 8 Getting Information	Section1 予習
	8	Unit 8 Getting Information	Section2 "
	9	Unit 8 Getting Information 発表2	Section3 "
	10	Unit 8 Getting Information 小テスト2	Section4 "
	11	Unit 9 Comparing & Contrasting	Section1 予習
	12	Unit 9 Comparing & Contrasting	Section2 "
	13	Unit 9 Comparing & Contrasting 発表3	Section3 "
	14	Unit 9 Comparing & Contrasting 小テスト3	Section4 "
	15	テスト対策・振り返り	テスト勉強（リスニング）
	16	中間テスト（Unit 7-9）	テスト勉強（リスニング）
	17	テスト振り返り	テスト勉強（リスニング）
	18	Unit 10 Talking about Experiences	Section1 予習
	19	Unit 10 Talking about Experiences	Section2 "
	20	Unit 10 Talking about Experiences 発表4	Section3 "
	21	Unit 10 Talking about Experiences 小テスト4	Section4 "
	22	Orientation for Group Project	発表に向けて準備
	23	Orientation for Group Project	音読練習
	24	Presentation	発表練習
	25	Presentation	発表練習
	26	Unit 11 Interviewing	Section1 予習
	27	Unit 11 Interviewing	Section2 "
	28	Unit 11 Interviewing 発表5	Section3 "
	29	Unit 11 Interviewing 小テスト5	Section4 "
30	テスト対策	テスト勉強	
31	期末テスト（Unit10-11, これまでの範囲全て）		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 『Communication Builder 〈Revised Edition〉 (改訂版)』南雲堂、ISBN 978-4-523-17632-9 (本体2100円+税)</p>
	<p>学びの手立て ★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、他の学部学科の学生とも協動的であること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。</p>
	<p>評価 中間・期末テスト30% 小テスト30% 発表 (ペアワークによるスピーキングテスト) 30% 平常点10% (授業への貢献)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) (できれば) 英語Ⅲ・Ⅳ (2) 資料収集や検索の仕方、プレゼンテーション作成方法や発表方法などを学んでほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語II	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIに引き続きスピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎と応用を学ぶ。また、英語Iと同様に情報の受信や発信という技術的な学習と、その背景にある異文化理解も含めていく。グローバル化が進む今日、英語コミュニケーションと異文化理解は卒業後の日常生活に於いても必要とされるはずである。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	In the City	Good Morning U. 7
	3	Reading a short story	Time to Read U11
	4	In the City	Good Morning U. 7
	5	Reading a short story	Time to Read U12
	6	All about You	Good Morning U. 8
	7	Reading a short story	Time to Read U13
	8	All about You	Good Morning U. 8
	9	Reading a short story	Time to Read U14
	10	Change	Good Morning U. 9
	11	Reading a short story	Time to Read U15
	12	Change	Good Morning U. 9
	13	Good Morning World Unit 7-9	Review U. 7-9
	14	Oral Exam 1	Practice U. 7-9
	15	Midterm Exam	Review U. 7-9
	16	Your Health	Good Morning U10
	17	Reading a short story	Time to Read U16
	18	Your Health	Good Morning U10
	19	Reading a short story	Time to Read U17
	20	Your Health	Good Morning U10
	21	Reading a short story	Time to Read U18
	22	That's Amazing!	Good Morning U11
	23	Reading a short story	Time to Read U19
	24	That's Amazing!	Good Morning U11
	25	Reading a short story	Time to Read U20
	26	At the Movies	Good Morning U12
	27	At the Movies	Good Morning U12
	28	At the Movies	Good Morning U12
	29	Good Morning World Unit 10-12	Review U. 10-12
30	Oral Exam 2	Practice U. 10-12	
31	Final Exam	Review U. 10-12	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません) <p>*前期と同じテキストを使用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>地域行政・法律の両学科合同のプレースメントテストによりクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Quiz 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III及びVIは学科によっては必須科目ではないが、英語に常に触れておくことは英語学習に於いて最も重要な事の一つである。よって、できるだけ英語III及びVIに進んで欲しい。また、インターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習も続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [経済]	1年	myamakawa@oiku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱのオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12他	役立つ表現 (12) の暗唱
	4	英語の基礎力養成14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現 (13) の暗唱
	6	英語の基礎力養成15	語彙力アップ (1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現 (14) の暗唱
	8	英語の基礎力養成16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現 (15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成17	語彙力アップ (2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現 (16) の暗唱
	12	英語の基礎力養成18	English Ace Unit 10の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の総復習
	14	英語の基礎力養成19	語彙力アップ (3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現 (17) の暗唱
	16	英語の基礎力養成14～19 (中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現 (18) の暗唱
	18	英語の基礎力養成20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現 (19) の暗唱
	20	英語の基礎力養成21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現 (20) の暗唱
	22	英語の基礎力養成22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現 (1)	役立つ表現 (21) の暗唱
	24	英語の基礎力養成23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現 (2)	役立つ表現 (22) の暗唱
	26	英語の基礎力養成24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎力養成20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成20～25 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [産業情報]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する
	2	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	単語予習 10課
	3	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	10課の復習・単語テスト準備
	4	Special Program:Film	関連事項のリサーチ
	5	Special Program:Film	コメントのまとめ
	6	Test: Unit 10, Comments on the Film	10課テストの準備
	7	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	単語予習 11課
	8	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	11課の復習・単語テスト準備
	9	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	単語予習 12課
	10	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	12課の復習・単語テスト準備
	11	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	12	Special Program: Film	コメントのまとめ
	13	Test: Unit 11,12 Comments on the Film	11, 12課テストの準備
	14	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	単語予習 13課
	15	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	13課の復習・単語テストの準備
	16	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	17	Special Program: Film	コメントのまとめ
	18	Test: Unit 13, Comments on the Film	13課テストの準備
	19	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	単語予習 14課
	20	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	14課の復習・単語テストの準備
	21	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	22	Special Program: Film	コメントのまとめ
	23	Test: Unit 14	14課テストの準備
	24	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	25	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	26	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	27	Memorization	会話暗記の練習
	28	Memorization	会話暗記の練習
29	Memorization	会話暗記の練習	
30	General Review	総復習	
31	Conclusion	総復習	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」 (南雲堂) 2014年 2500円</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、毎回準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項のリサーチ、コメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests: 50% Vocabulary Quiz: 20% Group Presentation: 10% Comments on the Films: 20%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成21	English Ace Unit139の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成23	English Ace Unit 15の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎力養成20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成20～25(期末点検)	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材e-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニョール デビッド [経済]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨル デビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [法律・地行]	1年	akooshiro@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰをさらに発展させて、英語コミュニケーションの力を日常で使用できるようにさまざまな活動を通して培う。	メッセージ 英語Ⅱ学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの準備	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	
	2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	
	3	英語基礎力養成 他	
	4	ラボ室学習	
	5	英語基礎力養成 他	
	6	ラボ室学習	
	7	英語基礎力養成 他	
	8	ラボ室学習	
	9	英語基礎力養成 他	
	10	ラボ室学習	
	11	英語基礎力養成 他	
	12	ラボ室学習	
	13	英語基礎力養成 他	
	14	ラボ室学習	
	15	英語基礎力養成 他	
	16	ラボ室学習	
	17	中間試験	
	18	ラボ室学習前半しあげ	
	19	英語基礎力養成 他	
	20	ラボ室学習	
	21	英語基礎力養成 他	
	22	ラボ室学習	
	23	英語基礎力養成 他	
	24	ラボ室学習	
	25	英語基礎力養成 他	
	26	ラボ室学習	
	27	英語基礎力養成 他	
	28	ラボ室学習	
	29	期末試験 他	
30	ラボ室学習後半しあげ		
31	振り返り 他		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. 全学共通のe-learning(購入の必要はない) 2. 英語 I で用いた教科書、 3. 講師作成配布のStudyGuideなど</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 II は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 III と IV です。そして、英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行 [法律・地行(2年以上)]	2年	ptt900@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。	マルチメディア教材を利用した課題を与え、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。積極的に取り組み、英語に親しんで欲しい。外国語学習は継続が重要です。毎回予習をし、遅刻、欠席がないよう努力して欲しい。

学びの準備	到達目標
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。 2. 英語の語彙力を伸ばし、日常的な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。 3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について自分なりの英語で表現できるようになる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション オンライン学習について	
	2	Living for work, Day 1	Unit 1のオンライン学習
	3	Living for work, Day 2	Unit 1のオンライン学習
	4	Living for work, Day 3	Unit 1のオンライン学習
	5	Good times, good feelings, Day 1	Unit 2のオンライン学習
	6	Good times, good feelings, Day 2	Unit 2のオンライン学習
	7	Good times, good feelings, Day 3	Unit 2のオンライン学習
	8	Treasures from the past, Day 1	Unit 3のオンライン学習
	9	Treasures from the past, Day 2	Unit 3のオンライン学習
	10	Treasures from the past, Day 3	Unit 3のオンライン学習
	11	Weather and climate, Day 1	Unit 4のオンライン学習
	12	Weather and climate, Day 2	Unit 4のオンライン学習
	13	Weather and climate, Day 3	Unit 4のオンライン学習
	14	中間テスト	Unit 1～4の復習
	15	Focus on food, Day 1	Unit 5のオンライン学習
	16	Focus on food, Day 2	Unit 5のオンライン学習
	17	Focus on food, Day 3	Unit 5のオンライン学習
	18	Housing, Day 1	Unit 6のオンライン学習
	19	Housing, Day 2	Unit 6のオンライン学習
	20	Housing, Day 3	Unit 6のオンライン学習
	21	Exploring space, Day 1	Unit 7のオンライン学習
	22	Exploring space, Day 2	Unit 7のオンライン学習
	23	Exploring space, Day 3	Unit 7のオンライン学習
	24	Art and music, Day 1	Unit 8のオンライン学習
	25	Art and music, Day 2	Unit 8のオンライン学習
	26	Art and music, Day 3	Unit 8のオンライン学習
	27	Our relationship with nature, Day 1	Unit 9のオンライン学習
	28	Our relationship with nature, Day 2	Unit 9のオンライン学習
	29	Our relationship with nature, Day 3	Unit 9のオンライン学習
30	How we communicate, Day 1	Unit 10のオンライン学習	
31	期末テスト	Unit 5～10の復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Chase, Becky T. (2013). Pathways 1: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Boston, MA: Heinle-Cengage ELT.</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。 2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。 3. 予習（特にオンライン学習）を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てること。 4. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを実施します。（5～7回、20%） 2. 中間テスト（30%） 3. 期末テスト（30%） 4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します（20%）
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目の「英語III」, 「英語IV」で英語の総合力を更に高めることができます。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語II	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIに引き続きスピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎と応用を学ぶ。また、英語Iと同様に情報の受信や発信という技術的な学習と、その背景にある異文化理解も含めていく。グローバル化が進む今日、英語コミュニケーションと異文化理解は卒業後の日常生活に於いても必要とされるはずである。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
	到達目標	
	1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラスオリエンテーション	
	2	In the City	Good Morning U. 7
	3	Reading a short story	Time to Read U11
	4	In the City	Good Morning U. 7
	5	Reading a short story	Time to Read U12
	6	All about You	Good Morning U. 8
	7	Reading a short story	Time to Read U13
	8	All about You	Good Morning U. 8
	9	Reading a short story	Time to Read U14
	10	Change	Good Morning U. 9
	11	Reading a short story	Time to Read U15
	12	Change	Good Morning U. 9
	13	Good Morning World Unit 7-9	Review U. 7-9
	14	Oral Exam 1	Practice U. 7-9
	15	Midterm Exam	Review U. 7-9
	16	Your Health	Good Morning U. 10
	17	Reading a short story	Time to Read U16
	18	Your Health	Good Morning U. 10
	19	Reading a short story	Time to Read U17
	20	Your Health	Good Morning U. 10
	21	Reading a short story	Time to Read U18
	22	That's Amazing!	Good Morning U. 11
	23	Reading a short story	Time to Read U19
	24	That's Amazing!	Good Morning U. 11
	25	Reading a short story	Time to Read U20
	26	At the Movies	Good Morning U. 12
	27	At the Movies	Good Morning U. 12
	28	At the Movies	Good Morning U. 12
	29	Good Morning World Unit 10-12	Review U. 10-12
30	Oral Exam 2	Practice U. 10-12	
31	Final Exam	Review U. 10-12	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません) <p>*前期と同じテキストを使用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>地域行政・法律の両学科合同のプレースメントテストによりクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Quiz 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III及びVIは学科によっては必須科目ではないが、英語に常に触れておくことは英語学習に於いて最も重要な事の一つである。よって、できるだけ英語III及びVIに進んで欲しい。また、インターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習も続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジヨン ターバート [英米]	1年	ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills.	メッセージ As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to speak English.
	到達目標 ・You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. ・You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. ・You will be able to give a short presentation in English.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
		テーマ	時間外学習の内容
	1	Summer vacation activity	Buy file
	2	Unit 8 (Review)	Useful English
	3	Unit 8 (Review)	Fix mistakes
	4	Correct common mistakes	Fix mistakes
	5	Unit 9 (Time)	Time
	6	Unit 9 (Time)	Time
	7	Unit 10 (Numbers)	Numbers
	8	Unit 10 (Numbers)	Time/numbers
	9	Unit 10 (Numbers)	Numbers
	10	Numbers	Time/numbers
	11	Unit 11 (Comparative)	Comparative
	12	Unit 11 (Comparative)	Comparative
	13	Unit 12 (Superlative)	Comparative
	14	Unit 12 (Superlative)	Interview prep
	15	How often	How often
	16	How often	Wh-questions
	17	How often	Wh-questions
	18	Unit 13 (Present perfect)	Present perfect
	19	Unit 13 (Present perfect)	Have you ever
	20	Future	Future
	21	Unit 14 (Future)	Future
	22	Unit 14 (Future)	Future
	23	Future	Future
	24	Future	Resolutions
	25	Winter vacation activity	Interview prep
	26	Interview	Speech prep
	27	Review	Review
	28	Speech	Interview prep
	29	Interview test	Review
30	Final exam	Review	
31	Interview test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as handouts. Students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence • Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • Students should use English in class as much as possible. • Syllabus is subject to change.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes (50%) Interview test (20%) Homework (10%) Attendance/participation (10%) Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in classes such as Oral Communication III.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、さらに日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室でもさらに、既存の教材「Viva! San Francisco」と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。</p>	<p>英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。やり方は前期同様。Learning Management System (LMS)にアクセスして予習・復習を行う。欠席したり教材プリントを紛失したりした場合も、そこから自分でプリントアウトしてテストなどに備える。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・海外のホームステイなど、いろいろな場面で困らない英語表現が身につく。 ・日本人の苦手な発音を克服する。 ・英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 ・英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンスⅠ_普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンスⅡ_ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS1を演習。座席確認。ペア練習の心得。洋楽合唱。	LMSを使って学習する
	4	Viva Ch. 11 & 洋楽#01を演習。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS9を演習。S1を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 12 & 洋楽#02を演習。洋楽#01を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS16を演習。S9を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 13、洋楽#03を演習。洋楽#02を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS23を演習。S16を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 14、洋楽#04を演習。洋楽#03を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS24を演習。S23を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 15、洋楽#05を演習。洋楽#04を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義Ⅰ@普通教室 S24を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義Ⅰ@CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッションⅠ：前半つぶやきテスト5回分・・・S1, S9, S16, S23, S24	LMSを使って学習する
	16	追試セッションⅠ：前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS29を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 16、洋楽#06を演習。中間成績発表。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS32を演習。S29を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 17、洋楽#07を演習。洋楽#06を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS37を演習。S32を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 18、洋楽#08を演習。洋楽#07を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS43を演習。S37を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 19、洋楽#09を演習。洋楽#08を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	特別講義Ⅱ@普通教室。S43を小テスト。採点済返却。成績集計・確認。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch. 20、洋楽#10を演習。洋楽#09を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	追試セッションⅡ：後半つぶやきテスト5回分・S26, S29, S32, S37, S43	LMSを使って学習する
	28	特別講義Ⅱ@CALL教室：実力テスト、授業評価アンケートの実施	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	特別講義Ⅲ：総合演習 + 洋楽合唱 + 最終成績発表	LMSを使って学習する
30	追試セッションⅡ：後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#09	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義Ⅲ：総合演習 + 追試調整 + 最終成績調整 / 補講	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、必ず“microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。“Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。</p>
	<p>評価</p> <p>出席10%、小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学习)20%、実力テスト10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースの履修後は、本学のカリキュラムに組まれた英語講読系やその他上級のコース「英語IV・VI・VIII」などを履修し、さらに発展させることを希望する。また扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語の復習が一生涯できる。是非その機会を生かし、またカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、一生涯楽しく英語を学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-仲宗根 朋美 [社文・人福・日文(2年以上)]	2年	E-mail: ptt015@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に続き、speaking, listeningの両分野において、基礎的な英語力をつけていくという目的に加えて、言語としての英語の認識、それを習得する上で大前提である、英語は、人の感情、または、思考を表現する媒体であるという認識と、大学における語学学習とのリンクをしっかりと意識して、英語学習を教科としてではなく、言葉の学習であるという認識を高めてもらう。</p>	<p>普通教室とCALL教室を、週一回づつ、使用する。普通教室における授業においては、主に教科書を使用した授業展開が、なされ、CALL教室を使用する場合は、listeningに重点的に焦点をあてて、洋楽等、生の英語の中に見える文化や社会の説明を交えながら、表出している感情を、英語を通して体感することにより、語感を鍛え、養成していくことを目指す。</p>

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的なリスニング能力が付き、平易なレベルの日常会話を理解できるようになる。 ● 平易なレベルの一般会話に必要な語彙が、理解できるようになる。 ● 感情的体験を通して、英語を言語として意識するようになり、実感を持って、コミュニケーションの手段として捉えることが、できるようになる。 ● 授業に積極的に参加する学習姿勢を養うことで、自主学習のモチベーションを高める。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：講義概要の説明・グループディスカッションの登録	シラバスの通読
	2		
	3	第2週～7週：	
	4	月曜 教科書のlistening section および洋楽等、生の英語の教材を使用した	事前に配布されるハンドアウトの
	5	言語としての英語を体感し、語感を鍛える学習のための授業展開を	教材および資料に目を通して
	6	行う。	予習してくる。
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>初回講義にて、担当教官よりテキストの具体的な情報公開（タイトルや出版社）が、あります。特別な事情がない限り、それまでには、朝野書房にテキストが、入荷するように、手配しますので、初回講義後、すぐに購入できるように、あらかじめ金銭的な準備をしてきてください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 辞書を持参すること・提出物は、必ずA4Aのルーズリーフを使用すること・A4のファイル綴りを準備すること「求められる態度・遅刻などの扱い」 3回の遅刻で1回の欠課とみなし、10回欠課した時点で、不可が、確定する。30分以上遅刻したら欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とみなす。欠席届は前日までに提出し、当日やむを得ず欠席する場合には、授業開始の16:20 までに、必ずメールで連絡すること。</p> <p>② 「学びを深めるために」事前に配布されるハンドアウトの教材や資料に、授業を受講する前には、必ず目を通して、テキストの予習も怠らず、受講後は、学習内容にくまなく目を通して、理解を深めるようにする。</p>
	<p>評価</p> <p>「評価基準」 中間テスト 35% 期末テスト 35% 授業参加貢献度 30% 中間・期末テストは、授業中に取り扱った学習内容を理解したかを図る、ということ目的とする。よって、授業中に使用したテキストおよび副教材から直接出題される。授業参加貢献度については、授業内で提供される学習内容をどれだけ積極的に取り組んだか、ということが評価の対象となり、具体的には、出席は、勿論のこと、授業内で提出を求められる課題提出をやったかどうか、という点が、評価の対象となる。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 上位科目「英語III」 授業で扱った事柄の学習の継続や発展のために、受講後は、英語IIIを受講することが、望ましい。(2) 次のステージ カリキュラムポリシーに沿って英語コミュニケーション能力を高めるべく、英語4技能の、どの分野に重点を置いた能力の養成をしてくれる内容になっているかを見極め、自分の目的に合ったクラスを選んで進んで行って欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習します。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。	英語Iで学んだことを活かし、更に英語を活用して様々な活動をして行きたいと思っています。英語は活用してこそ楽しいのです！ See you in class!

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。 英語でクラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 「英語の壁」に遭遇した場合、自分なりに解決方法を考え、それに沿った行動ができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション& 英語I 復習	英語Iの復習& Unit 8 予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 11	Unit 8復習& Viva SF Ch.11復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	5	Viva! San Fransisco Ch. 12	Unit 9予習& Viva SF Ch.12復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 13	Unit 9復習& Viva SF Ch.13復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 14	Unit 10予習& Viva SF Ch.14復
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 15	Unit 10復習 Viva SF Ch.15復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Viva SF 11-15復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 11-15	Unit 11予習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 16	Unit 11復習& Viva SF Ch.16復習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 17	Unit8-11予習& Viva SF Ch.17復習
	18	中間試験 Unit 8-11	「英語を使う職業について」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 18	Unit 12予習& Viva SF Ch.18復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 19	Unit 12復習& Viva SF Ch.19復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	23	Viva! San Francisco Review Ch. 20	Unit 13予習& Viva SF Ch. 20復習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13復習&Viva SF Ch.16-20復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 16-20	Unit 13復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 13復習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習
	30	Unit 14: It's time to go!	Unit 1-14復習
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、TA（助手）として活動したもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語IIIやIVなどの上のレベルを受講することを含め、自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション維持にもなるので是非チャレンジしてほしい。また産業情報学科で開講されている「ビジネス英語」の受講も期待する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ英語表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ英語表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ英語表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ英語表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ英語表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ英語表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ英語表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ英語表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ英語表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ英語表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ英語表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性 読む・書く・聞く・話すの4技能のうち、主に「聞く」「話す」を中心に、簡単な日常会話で聞き手と話し手が双方向に理解できる。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	1年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に話されている自然な英語をたくさん聞き、英語表現の特徴を掴み、ペアレッスン等を通して学習する。そして相手の英語を理解し、自分の言いたいことを的確に英語で表現できるようにする。「聞き」「話す」に重点を置くが、英語を発信するoutputの力を養うために、英語によるtwo minutes speechとwritingの課題を課す。教科書は前期の続編を使用。</p>	<p>このテキストは、日常会話のトピックが題材となっており、会話の練習にとってもよい。またlistening内容もバラエティーに富んでおり、生の英語に触れることができるよう構成されている。ペアレッスンのときは、恥ずかしがらずに真剣に取り組んでほしい。他の課題も同様で、提出日を守る。毎日少しずつ学習することが、英語能力を高める秘訣である。</p>
到達目標	<p>① Listeningの内容が理解できる。 ② 英語で2分間スピーチすることができる (two minutes speech)。 ③ 言いたいことを英語で正しく書くことができる (two writing assignments)。 ④ 教科書で学ぶ文法や単語を習得する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをよく読むこと
	2	Long time no see	U. 1 (pp. 7-11)
	3	My place 1	U. 2 (pp. 15-16)
	4	My place 2	U. 2 (pp. 17-19)
	5	My place 3 listening quiz	U. 2 (p. 20)
	6	Money 1 two minutes speech starts	U. 3 (pp. 23-24)
	7	Money 2	p25-27 writing課題
	8	Money 3 listening quiz	U. 3 (p. 28)
	9	Going out 1	U. 4 (pp. 31-32)
	10	Going out 2	U. 4 (pp. 33-35)
	11	Going out 3 listening quiz	U. 4 (p. 36)
	12	Fashion 1	U. 5 (pp. 39-40)
	13	Fashion 2	U. 5 (pp. 41-43)
	14	Fashion 3 listening quiz	U. 5 (p. 44)
	15	Experience abroad 1	U. 7 (pp. 59-60)
	16	Experience abroad 2	p61-63 writing課題
	17	Experience abroad 3 listening quiz	U. 7 (p. 64)
	18	Health 1	U. 8 (pp. 67-68)
	19	Health 2	U. 8 (pp. 69-71)
	20	Health 3 listening quiz	U. 8 (p. 72)
	21	Careers 1	U. 10 (pp. 83-84)
	22	Careers 2	U. 10 (pp. 85-87)
	23	Careers 3 listening quiz	U. 10 (p. 88)
	24	Personal entertainment 1	U. 11 (pp. 91-92)
	25	Personal entertainment 2	U. 11 (pp. 93-95)
	26	Personal entertainment 3 listening quiz	U. 11 (p. 96)
	27	Something special 1	U. 12 (pp. 99-100)
	28	Something special 2	U. 12 (pp. 101-103)
	29	Something special 3 listening quiz	U. 12 (p. 104)
30	Achievement test	総合的な復習	
31	Final Examination	Unit 1, 6, 9以外	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Nice Talking with You 2 (Cambridge University Press) 特になし</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p>
	<p>評価 出席（5点）、Listening Quiz（50点）、1分間スピーチ（25点）、Writing (essay)（20点）、期末試験（50点）--> 合計150点 80%以上は優、70~79%は良、60~69%は可、59%以下は不可。欠課が10回以上の場合も不可。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能をバランスよく伸ばし、観光ガイドに必要な知識を習得する。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。日本文化について英語で学んでいきます。学園祭のパフォーマンスに没頭しすぎないように、勉学にも励んでください。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Lesson1: Tokyo Station	L1 Exercises
	3	DVD教材1: Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	L2&3: Exploring Metropolitan... /Restaurant at...	L2&3 Exercises
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	L4: Kakunodate:A Town of Samurai and...	L4 Exercises
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	L5: Old Private Houses in Takayama	L5 Exercises
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	L6&7: Hatcho Miso in... /Toyota Automobile...	L6&7 Exercises
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	L8: Cormorant Fishing	L8 Exercises
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	L9: UjiByodoin	L9 Exercises
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	L10&11: Kyoto Studio... /International Phone...	L10&11 Exercises
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	L12&13: Bakery Shops in... /White Heron Castle	L12&13 Exercises
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	L14&15: Ritsurin Park /Charms of Miyazaki	L14&15 Exercises
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	L16&17: At The Nichinan ... /Ishigaki Island	L16&17 Exercises
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	L18: Departure	L18 Exercises
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Discovering Japan through Tourism English [観光英語で日本発見!] (英宝社, 2010年) ¥1,890(税別)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブローケンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。 今年はそのジंकスを打破しましょう。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit7(1): Food & drink(可算、不可算名詞)	U7 Grammar Ref.
	3	DVD教材1: Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit7(2): Food & drink	U7 Digibook
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	U9(1): Adventures (Present Perfect)	U9 Grammar Ref.
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	U9(1): Adventures	U9 Digibook
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	U12(1): The modern world (Present Perfect)	U12 Grammar Ref.
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	U12(2): The modern world	U12 Digibook
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	U10(1): Health (Advice & Suggestions)	U10 Grammar Ref.
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	U10(2): Health	U10 Digibook
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	U11(1): Comparisons (比較級/最上級)	U11 Grammar Ref.
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	U11(2): Comparisons	U11 Digibook
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	U6(1): Celebrations (going to / will)	U6 Grammar Ref.
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	U6(2): Celebrations	U6 Digibook
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough PLUS 2 (Macmillan LanguageHouse, 2012年) ¥2,500(税別)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価 中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SanFranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて	メッセージ 英語Ⅱ学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	
	2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	
	3	ラボ室学習Viva!1回目 他	
	4	英語基礎力養成12 他	
	5	ラボ室学習Viva!2回目 他	
	6	英語基礎力養成13 他	
	7	ラボ室学習Viva!3回目 他	
	8	英語基礎力養成14 他	
	9	ラボ室学習Viva!4回目 他	
	10	英語基礎力養成15 他	
	11	ラボ室学習Viva!5回目 他	
	12	英語基礎力養成16 他	
	13	Viva! 中間点検 他	
	14	英語基礎力養成17 他	
	15	ラボ室学習Viva!6回目 他	
	16	英語基礎力養成12-17点検 (テストを含む)	
	17	ラボ室学習Viva!7回目 他	
	18	英語基礎力養成18 他	
	19	ラボ室学習Viva!8回目 他	
	20	英語基礎力養成19 他	
	21	ラボ室学習Viva!9回目 他	
	22	英語基礎力養成20 他	
	23	ラボ室学習Viva!10回目 他	
	24	英語基礎力養成21 他	
	25	Viva!期末点検 (テストを含む)	
	26	英語基礎力養成22 他	
	27	スピーキングテスト準備	
	28	英語基礎力養成18-22点検 (テストを含む)	
	29	スピーキングテスト関連	
30	スピーキングテスト関連		
31	スピーキングテスト関連		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. Viva! San Francisco大八木廣人他マカミランゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語 I で用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 II は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください</p>
	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech, 発表, 出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 III と④です。そして、英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-仲宗根 朋美 [法律・地行]	2年	E-mail: ptt015@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語という言葉に、意識・無意識、両レベルにおいて表出してくる、英語文化圏の文化・社会の特徴を多角的に理解し、加えて自国の日本文化を対比させることによって理解できる両者の文化的違いを理解する。	メッセージ 火曜は、教科書 Multicultural Japanを学習し、そこで説明されている日本国内に見られるmulticulturalism Iを考察します。金曜は、インターネットから提供される生の教材（YouTubeの洋楽を含む）に内在する英語圏の文化・社会的特徴を、客観的に観察し、自国文化との対比における考察を行うことによって、両文化への更なる理解を深めます。
	到達目標 ● 多文化主義（multiculturalism）という現代国際社会の流れに見られる主義を、具体例をもって理解し、説明できるようになる。 ● 自国文化・他国文化に対する自分の意見や解釈を述べるようになる。 ● Multiculturalismに関して、関連する語彙を理解し、読解、または、英作文する過程において、用いることが、できるようになる。 ● 英語 I および英語 IIを受講していた1年次の時よりも、更に高度なレベルの英文を読解、作文することが、できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：講義概要説明・グループディスカッションの登録	シラバスの通読
	2		
	3	第2～7週：	
	4	火曜 教科書を利用し、異文化理解を深める	教科書の予習
	5	金曜 生の教材を用いて、その教材の背景として内在する異文化および	ハンドアウト教材や資料に目を通す
	6	その社会について学ぶ。	
	7		
	8	第8週：中間テスト実施および返却	中間テストの準備
	9		
	10	第9～14週目：	
	11	第2～7週と同じ内容で、火、金それぞれ異なった授業展開が、なされる。	火曜：教科書の予習
	12	(上記 第2～7週 を参照して下さい)	金曜：ハンドアウトに目を通す
	13		
	14	第15週：期末テスト実施・返却	期末テストの準備
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

	<p>テキスト・参考文献・資料など 次のテキストを使用する。Multicultural Japan Carolyn Wright 他著 南雲堂 1,700円 + 税</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て ① 「履修の心構え」 辞書を持参すること・提出物は、必ずA4Aのルーズリーフを使用すること・A4のファイル綴りを準備すること「求められる態度・遅刻などの扱い」 3回の遅刻で1回の欠課とみなし、10回欠課した時点で、不可が、確定する。30分以上遅刻したら欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とみなす。欠席届は前日までに提出し、当日やむを得ず欠席する場合には、授業開始の13:00 までに、必ずメールで連絡すること。② 「学びを深めるために」 事前に配布されるハンドアウトの教材や資料に、授業を受講する前には、必ず目を通して、テキストの予習も怠らず、受講後は、学習内容にくまなく目を通して、理解を深めるようにする。</p>
	<p>評価 評価方法・割合： 中間テスト 50% 期末テスト 50% 総合評価は、中間・期末の結果の平均から、欠課回数を差し引いた得点に基づいて、学則で定められている評価基準を、適用、決定します。最終的に出てきた値を絶対的なものとして、評価しますので、単位認定に、不足している値を補うためのレポートはや課題、というものは、ありません。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目・上位科目 英語IV (2) カリキュラムポリシーにおいて、国際交流に役立つコミュニケーション能力の養成が、掲げられているため、この目標のもと、英語IIIで習得したreadingおよびwritingに関するスキルを更に磨くべく、英語IVに臨んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	2年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 映画という生きた英語の素材を使い、reading, listening, short writing, そしてrole playによるspeakingの学習を通して、総合的な英語力を育成する。法律関連用語や文法の習得だけでなく、米国社会や法曹界の様子も知ることができる。学期最後に映画の感想文を英語で書いて提出。	メッセージ 教科書は、映画の登場人物の表情や、文脈の流れを見ながら生きた英語が学習できるよう構成されており、4技能が学習できます。練習問題はすでにやっけてきているものとして授業を進めていきますので、必ず予習しておくように。映画「エリン・ブロコビッチ」DVDはCALL管理室にありますので、事前に観ておくことを勧めます。
	到達目標 ① readingの内容を理解できる ② vocabularyやgrammarの習得 ③ 英作文(short writing)が正しく書ける ④ 会話が正しく聞き取れる ⑤ 映画の感想を英語でA4用紙一枚に書くことができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	Unit 1
	2	Story 1(1) Reading	Unit 2 pp.8-10
	3	Story 1(2) Reading	Unit 2 pp.11-13
	4	Story 1(3) Audio Visual Learning	Unit 3 pp.14-15
	5	Story 1(4) Audio Visual Learning	Unit 3 pp.16-18
	6	Story 2(1) Reading	Unit 4 pp.20-22
	7	Story 2(2) Reading	Unit 4 pp.23-25
	8	Story 2(3) Audio Visual Learning	Unit 5 pp.26-27
	9	Story 2(4) Audio Visual Learning	Unit 5 pp.28-30
	10	Story 3(1) Reading	Unit 6 pp.32-34
	11	Story 3(2) Reading	Unit 6 pp.35-37
	12	Story 3(3) Audio Visual Learning	Unit 7 pp.38-39
	13	Story 3(4) Audio Visual Learning	Unit 7 pp.40-42
	14	Follow up	Units 1~7復習
	15	Midterm Examination (Units 2-7)	同上
	16	Story 4(1) Reading	Unit 8 pp.44-46
	17	Story 4(2) Reading	Unit 8 pp.47-49
	18	Story 4(3) Audio Visual Learning	Unit 9 pp.50-51
	19	Story 4(4) Audio Visual Learning	Unit 9 pp.52-54
	20	Story 5(1) Reading	Unit 10 pp.56-58
	21	Story 5(2) Reading	Unit 10 pp.59-61
	22	Story 5(3) Audio Visual Learning	Unit 11 pp.62-63
	23	Story 5(4) Audio Visual Learning	Unit 11 pp.64-66
	24	Story 6(1) Reading	Unit 12 pp.68-70
	25	Story 6(2) Reading	Unit 12 pp.71-73
	26	Story 6(3) Audio Visual Learning	Unit 13 pp.74-75
	27	Story 6(4) Audio Visual Learning	Unit 13 pp.76-78
	28	Follow up	Units 8~13復習
	29	The Real Erin	Unit 14 pp.80-82
30	Writingの書き方	writing課題	
31	Final Examination (Units 8-13)	Units 8~13復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など English on Screen (金星堂、2015)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修の心構え> 単語チェックや練習問題は必ず事前にやってくる。練習問題の解答は全て学生にやってもらいます。積極的な態度が望ましい。講義中の私語や携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。毎回、出席を取ります。遅刻3回で1回の欠課とみなし、欠席が10回になると単位を与えない。 ・学びを深めるために> 単語の量が多いので、整理して覚えられるよう自分なりに工夫してノートにまとめるとよいでしょう。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participation 10% (到達目標①②③④⑤) 2. Midterm Examination 35% (到達目標①②③④) 3. Final Examination 35% (到達目標①②③④) 4. Writing assignment 10% (到達目標⑤)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>映画は英語学習のよい教材なので、自分の好きな映画を何度も観て、表現の仕方や顔の表情、文化背景などをじっくり学んで知識を広げ、将来の可能性につなげて欲しいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-大田 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け；kaori@win.email.ne.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義においては、法律・地域行政を学ぶ学生を対象に、世界各地で起こっている様々な出来事を通じてその問題を考えながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。特に社会問題、歴史、カルチャー等の様々な現代の話題に触れながらリーディングスキルを磨きます。さらに、本文中の重要構文を覚えながら、自分の伝えたいことを英語で表現できるようライティングスキルを学びます。</p>	<p>この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。</p>
到達目標	①英語長文を正しく読み取ることができる。②自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	マンガブーム到来！マレーシアの国産漫画家たち	Unit1 予習および復習
	3	安いだけじゃない！ニュージーランドの最新ホステル事情	Unit2 予習および復習
	4	デザイン大国スウェーデンの秘密！	Unit3 予習および復習
	5	シンガポールの新名所はスーパー植物園	Unit4 予習および復習
	6	不況を生き抜くイタリアの若者たち	Unit5 予習および復習
	7	銃をめくり二分するアメリカ	Unit6 予習および復習
	8	オリンピックは町をどう変える！リオデジャネイロの場合	Unit7 予習および復習
	9	高層ビルの街：ドイツ・フランクフルト	Unit8 予習および復習
	10	死の街：インド・バンガラディッシュ	Unit9 予習および復習
	11	映画御・サウンドミュージックの街：オーストラリアザルツブルグ	Unit10 予習および復習
	12	ジンバブエ・ムバレ市場の一日	Unit11 予習および復習
	13	お守り作りで味わうタイの心	Unit12 予習および復習
	14	スウェーデン・イクメン大国の「タテババ」たち	Unit13 予習および復習
	15	文化の交差点・オランダ・マーストリヒト	Unit14 予習および復習
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①ユニット毎の小テストをする。 ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。 ③10回以上の欠席は単位を与えない。 ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。</p>
	<p>評価 ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③出席および宿題 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、さらに様々な分野に関心を持ち世界に目を向け、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [全学科]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [全学科(全学年)]	1年	Email: realrealgone123@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含む「青少年文学」の古典である The Outsiders (1968)を講読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキストThe Outsiders を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人なって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	文法的に平易な英文(口語的な英文)の長文を読むことができるようになる。アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	The Outsiders Chapter 1 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	3	Composition	リーディングの課題
	4	The Outsiders Chapter 2 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	5	Composition	リーディングの課題
	6	The Outsiders Chapter 3 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	7	Composition	リーディングの課題
	8	The Outsiders Chapter 4 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	9	Composition	リーディングの課題
	10	The Outsiders Chapter 5 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	11	Composition	リーディングの課題
	12	The Outsiders Chapter 6 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	13	Composition	中間試験の準備学習
	14	Midterm Exam	ライティングとリーディングの課題
	15	Composition	リーディングの課題
	16	The Outsiders Chapter 7 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	17	Composition	リーディングの課題
	18	The Outsiders Chapter 8 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	19	Composition	リーディングの課題
	20	The Outsiders Chapter 9 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	21	Composition	リーディングの課題
	22	The Outsiders Chapter 10 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	23	Composition	リーディングの課題
	24	The Outsiders Chapter 11 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	25	Composition	リーディングの課題
	26	The Outsiders Chapter 12 クイズ	ライティングとリーディングの課題
	27	Composition	リーディングの課題
	28	Film The Outsiders (1982)	ライティングの課題
	29	Film The Outsiders (1982)	ライティングの課題
30	Composition	期末試験の準備学習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など The Outsiders (1968) S. E. Hinton Speak (1968)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ① 履修の心得： 「英語I」と「英語Ii」の単位を取得していることが望ましい。クラスの最初の20分間で、12回のクイズあるいはパラグラフ・ライティングをほぼ毎回実施するので、できるだけ出席をするように心がけてほしい。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために： 講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポート（テキスト・映画の感想文）20% クイズとライティングの課題 20% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験の両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語IV（後期学期提供）を受講を勧めます。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい 大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。	メッセージ 基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。
	到達目標 英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中級英語の4技能を身に付けることを目的としながら、特に読み・書きに力を入れる。テキスト(前半)をとおして、ペアやグループでの練習問題や、イギリスや世界の幅広い内容を扱う読解問題(「2つの家族の物語」、「チャールズ皇太子の私生活」、「育児—今と昔」など)、ライティングの実践問題(手紙や自伝、物語、場所の描写など)を行う。	メッセージ ペアやグループ、教室内での交流をとおして楽しく、確実に実力UPしましょう。 各自の理解度・到達度に応じて、EXTRA READINGも行っていきます。
	到達目標 ①英語検定試験(STEP)準2級~2級レベル・TOEIC 380~460点レベルを修得する。 ②300~700文字程度の英文を読み、的確に理解することができる。 ③200~600文字程度の簡単な英文が適格に書けることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・A class survey(Unit 1)	Unit 1 エクササイズ
	2	Unit 1	同上
	3	Unit 1	同上
	4	Unit 1	Writing エクササイズ
	5	Writing Unit 1	同上
	6	Unit 2	Unit 2 エクササイズ
	7	Unit 2	同上
	8	Unit 2	同上
	9	Unit 2	Writing エクササイズ
	10	Writing Unit 2	同上
	11	Unit 3	Unit 3 エクササイズ
	12	Unit 3	同上
	13	Unit 3	同上
	14	Unit 3	Writing エクササイズ
	15	Writing Unit 3	復習
	16	中間テスト	Writing エクササイズ
	17	Unit 4	Unit 4 エクササイズ
	18	Unit 4	同上
	19	Unit 4	同上
	20	Unit 4	Writing エクササイズ
	21	Writing Unit 4	同上
	22	Unit 5	Unit 5 エクササイズ
	23	Unit 5	同上
	24	Unit 5	同上
	25	Unit 5	Writing エクササイズ
	26	Writing Unit 5	同上
	27	Unit 6	Unit 6 エクササイズ
	28	Unit 6	同上
	29	Unit 6	Writing エクササイズ
30	Writing Unit 6	復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Liz and John Soars 著 New Headway Intermediate Student's Book Fourth edition (Oxford University Press), Unit 1~6, Writing Unit 1~6</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①ほぼ毎回、HOMEWORKとして課題（エクササイズ、単語ノートなど）を出すので、必ず取り組むこと。 ②欠席した場合は次回の授業までに欠席届を提出すること。欠席した場合も、HOMEWORK内容を各自で確認し、取り組むこと。 ③欠席した日に課題が提出できない場合、次回の授業が始まる前までに課題を提出すること（emailまたはメールBOXにて）。</p>
	<p>評価</p> <p>課題（ほぼ毎回）・・・50% テスト(中間・期末)・・・50% *出席が3分の2に満たない・中間・期末テストを受けない場合、「不可」となります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目：英語Ⅳ 英語検定試験（STEP）準2級～2級レベル、TOEIC 380～460点レベルを修得することを目標としています。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では200語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 自分自身に関する事柄について説明できる。 他者に対していくつかの方法で質問ができる。 日常生活レベルの基礎的な会話ができる。 200語程度の英文を読み、理解できる。 品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞など）の概念が理解できる。 基礎英文法が理解できる。 基本表現が使用できる。 簡単な英文の文章が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1 Teddy Bears	教科書Unit1 を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 April Fools' Day	教科書Unit2 を事前に読む
	4	Unit 2	同上
	5	Unit3 The Biggest Birthday Present	教科書Unit3 を事前に読む
	6	Unit 3 & Unit 4 Funny English Jokes	教科書Unit4 を事前に読む
	7	Unit4	同上
	8	Unit4 & Unit5 Adélie Penguins	教科書Unit5 を事前に読む
	9	Unit 5	同上
	10	Unit 6 Eat Well, Eat Smart	教科書Unit6 を事前に読む
	11	Unit6 & Unit 7 Three Popular Mysteries	教科書Unit7 を事前に読む
	12	Unit 7	同上
	13	Preparation for the Mid-term Exam	中間試験対策をする
	14	中間試験 Unit1-7	同上
	15	Unit 8 Protect Our Environment	教科書Unit8 を事前に読む
	16	Unit 8 & Unit 9 Laughing and Thinking	教科書Unit9 を事前に読む
	17	Unit 9	同上
	18	Unit 10 Body Art	教科書Unit10 を事前に読む
	19	Unit10 & Unit 11 The Most Extreme Marathons	教科書Unit11 を事前に読む
	20	Unit 11	同上
	21	Unit 12 Fortune Cookies	教科書Unit12 を事前に読む
	22	Unit 12 & Unit 13 Gap Year	教科書Unit13 を事前に読む
	23	Unit 13	同上
	24	Unit 14 High Up in the Alps	教科書Unit14 を事前に読む
	25	Unit 14	同上
	26	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする
31	Fianl Exam (期末試験) Unit 8-14	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 1 (2016年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込: 2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力 (話す、読む、書く、聞く) の習得を目指し、さらなる英語の運用能力 (特にリーディングとライティング) の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」「書き」の演習活動に焦点をあてる。	メッセージ 外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになる。そのために有効なskimming, scanningなどのreading skillsを身につけることができる。(2)期間中、Vocab-Notebookとよぶ「単語ノート」を自主作成し、継続的に語彙力増強に努めることができる。(3)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有することができる。(4)毎週実施する語彙クイズでは、8割以上の正答率をめざし努力する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・シラバスをよく読んで理解する。
	2	Unit 1 & 2, Scanning 1, Predicting 1, Quiz 01	
	3	Unit 3 & 4, Skimming 1, Recognizing Sequence of Events, Quiz 02	
	4	Unit 5, Identifying Main Ideas 1, Review the Units 1, Quiz 03	学期を通して以下を自律学習する
	5	Unit 6 & 7, Predicting 2, Scanning 2, Quiz 04	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	6	Unit 8 & 9, Skimming 2, Identifying Main Ideas 2, Quiz 05	・少なくとも2回音読をすませ
	7	Unit 10, Skimming 3, Review the Units 2, Quiz 06	て毎回の授業にのぞむ。
	8	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	9	Unit 11 & 12, Skimming for Faster Reading, Quiz 07	・週1回のクイズに備える。
	10	Unit 13 & 14, Reading without a Dictionary, Quiz 08	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	11	Unit 15, Predicting, Review the Units 3, Quiz 09	
	12	Unit 16 & 17, Looking for Specific Information, Quiz 10	
	13	Unit 18 & 19, Reading for Pleasure , Quiz 11	
	14	Unit 20, Paragraph Reading, Review the Units 4, Quiz 12	
	15	Reading Skill Exercise 2, Quiz 13	
	16	Review the Quizzes 2, Final Examination	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Basic Skills for Reading (リーディングスキルの基礎演習), N. J. Anderson and M. Kawamata, Seibido (成美堂), 2004 ※朝野書房にて販売。全受講生必携。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。②授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では、大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム嚙および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および退席</p>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>①Examinations -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では200語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身に関する事柄について説明できる。 2. 他者に対していくつかの方法で質問ができる。 3. 日常生活レベルの基礎的な会話ができる。 4. 200語程度の英文を読み、理解できる。 5. 品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞など）の概念が理解できる。 6. 基礎英文法が理解できる。 7. 基本表現が使用できる。 8. 簡単な英文の文章が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1 Teddy Bears	教科書Unit1 を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 April Fools' Day	教科書Unit2 を事前に読む
	4	Unit 2	同上
	5	Unit3 The Biggest Birthday Present	教科書Unit3 を事前に読む
	6	Unit 3 & Unit 4 Funny English Jokes	教科書Unit4 を事前に読む
	7	Unit4	同上
	8	Unit4 & Unit5 Adélie Penguins	教科書Unit5 を事前に読む
	9	Unit 5	同上
	10	Unit 6 Eat Well, Eat Smart	教科書Unit6 を事前に読む
	11	Unit6 & Unit 7 Three Popular Mysteries	教科書Unit7 を事前に読む
	12	Unit 7	同上
	13	Preparation for the Mid-term Exam	中間試験対策をする
	14	中間試験 Unit1-7	同上
	15	Unit 8 Protect Our Environment	教科書Unit8 を事前に読む
	16	Unit 8 & Unit 9 Laughing and Thinking	教科書Unit9 を事前に読む
	17	Unit 9	同上
	18	Unit 10 Body Art	教科書Unit10 を事前に読む
	19	Unit10 & Unit 11 The Most Extreme Marathons	教科書Unit11 を事前に読む
	20	Unit 11	同上
	21	Unit 12 Fortune Cookies	教科書Unit12 を事前に読む
	22	Unit 12 & Unit 13 Gap Year	教科書Unit13 を事前に読む
	23	Unit 13	同上
	24	Unit 14 High Up in the Alps	教科書Unit14 を事前に読む
	25	Unit 14	同上
	26	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Unit 8-14	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 1 (2016年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込: 2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力 (話す、読む、書く、聞く) の習得を目指し、さらなる英語の運用能力 (特にリーディングとライティング) の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-仲宗根 朋美 [法律・地行]	2年	E-mail: ptt015@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期に引き続き、英語という言語に、意識・無意識、両レベルにおいて表出してくる、英語文化圏の文化・社会の特徴を多角的に理解し、加えて自国の日本文化を対比させることによって理解できる両者の文化的違いを理解する。	メッセージ 火曜は、教科書 Multicultural Japanを学習し、そこで説明されている日本国内に見られるmulticulturalism 1を考察します。金曜は、インターネットから提供される生の教材（YouTubeの洋楽を含む）に内在する英語圏の文化・社会的特徴を、客観的に観察し、自国文化との対比における考察を行うことによって、両文化への更なる理解を深めます。
	到達目標 ● 多文化主義 (multiculturalism) という現代国際社会の流れに見られる主義を、具体例をもって理解し、説明できるようになる。 ● 自国文化・他国文化に対する自分の意見や解釈を述べるようになる。 ● Multiculturalismに関して、関連する語彙を理解し、読解、または、英作文する過程において、用いることが、できるようになる。 ● 英語 I および英語 IIを受講していた1年次の時よりも、更に高度なレベルの英文を読解、作文することが、できる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：講義概要説明・グループディスカッションの登録	シラバスの通読
	2		
	3	第2～7週：	
	4	火曜 教科書を利用し、異文化理解を深める	教科書の予習
	5	金曜 生の教材を用いて、その教材の背景として内在する異文化および	ハンドアウト教材や資料に目を通す
	6	その社会について学ぶ。	
	7		
	8	第8週：中間テスト実施および返却	中間テストの準備
	9		
	10	第9～14週目：	
	11	第2～7週と同じ内容で、火、金それぞれ異なった授業展開が、なされる。	火曜：教科書の予習
	12	(上記 第2～7週 を参照して下さい)	金曜：ハンドアウトに目を通す
	13		
	14	第15週：期末テスト実施・返却	期末テストの準備
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

	<p>テキスト・参考文献・資料など 次のテキストを使用する。Multicultural Japan Carolyn Wright 他著 南雲堂 1,700円 + 税</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て ① 「履修の心構え」辞書を持参すること・提出物は、必ずA4Aのルーズリーフを使用すること・A4のファイル綴りを準備すること「求められる態度・遅刻などの扱い」3回の遅刻で1回の欠課とみなし、10回欠課した時点で、不可が、確定する。30分以上遅刻したら欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とみなす。欠席届は前日までに提出し、当日やむを得ず欠席する場合には、授業開始の13:00 までに、必ずメールで連絡すること。② 「学びを深めるために」事前に配布されるハンドアウトの教材や資料に、授業を受講する前には、必ず目を通して、テキストの予習も怠らず、受講後は、学習内容にこまなく目を通して、理解を深めるようにする。</p>
	<p>評価 評価方法・割合： 中間テスト 50% 期末テスト 50% 総合評価は、中間・期末の結果の平均から、欠課回数を差し引いた得点に基づいて、学則で定められている評価基準を、適用、決定します。最終的に出てきた値を絶対的なものとして、評価しますので、単位認定に、不足している値を補うためのレポートはや課題、というものは、ありません。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目・上位科目 英語V (英検2級レベル) (2) 継のステージ 英語I～IVで培った、英語4技能のバランスの良い基礎的習得に加えて、更に、それを土台に英語力の向上を目指して、頑張っていってほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [全学科]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
		テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、Reading Skillsのさらなる向上をめざす。	メッセージ 外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)比較的長めの英文エッセイにも躊躇せず読み通すことができる。(2)読んだ内容や読後の感想を短い文章にまとめることができ、受講生同士で共有することで扱われている題材の理解深化をめざす。(3)期間中、Three Line Diaryとよぶ「仮称：三行日記」を書きつづけることができる。(4)毎週実施するクイズで8割以上の正答率をめざし、語彙力増強に努める。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・シラバスをよく読んで理解する。
	2	Unit 1 & 2, Scanning 1, Predicting 1, Quiz 01	
	3	Unit 3 & 4, Skimming 1, Recognizing Sequence of Events, Quiz 02	
	4	Unit 5, Identifying Main Ideas 1, Review the Units 1, Quiz 03	学期を通して以下の自律学習
	5	Unit 6 & 7, Predicting 2, Scanning 2, Quiz 04	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	6	Unit 8 & 9, Skimming 2, Identifying Main Ideas 2, Quiz 05	・少なくとも2回音読をすませ
	7	Unit 10, Skimming 3, Review the Units 2, Quiz 06	て毎回の授業にのぞむ。
	8	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	9	Unit 11 & 12, Skimming for Faster Reading, Quiz 07	・週1回のクイズに備える。
	10	Unit 13 & 14, Reading without a Dictionary, Quiz 08	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	11	Unit 15, Predicting, Review the Units 3, Quiz 09	
	12	Unit 16 & 17, Looking for Specific Information, Quiz 10	
	13	Unit 18 & 19, Reading for Pleasure , Quiz 11	
	14	Unit 20, Paragraph Reading, Review the Units 4, Quiz 12	
	15	Reading Skill Exercise 2, Quiz 13	
	16	Review the Quizzes 2, Final Examination	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>英語Ⅲにおける受講生の理解度・到達度等を考慮に入れて、テキストを選定する予定。 よって、上記授業計画 身近な話題を集めたテキスト()</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。② 授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では、大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④ 積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム噛および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および</p>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>①Examinations -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中級英語の4技能を身に付けることを目的としながら、特に読み・書きに力を入れる。テキストをとおして、ペアやグループでの練習問題や読解問題、ライティングの実践問題を行う。	メッセージ ペアやグループ、教室内での交流をとおして楽しく、確実に実力UPしましょう。各自の理解度・到達度に応じて、EXTRA READINGも行っていきます。
	到達目標 ①中級英語の語彙・文法を習得し、 ②300～800文字程度の英文を読み、的確に理解することができ、 ③200～500文字程度の簡単な英文が書けるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス&前期のふりかえり	復習・予習
	2	Reading: "My grandfather's shop Fish & Chips" (冠詞: a/an/the)	//
	3	Reading: "No ordinary place to eat!"	//
	4	未来形、I'd like to～ If + will/might/would	//
	5	動詞フレーズ・イディオム	//
	6	Writing: "My dreams for the future"	Writing: My dreams for the futur
	7	Comparing people	復習・予習
	8	発表 (My dreams for the future)	//
	9	Reading: "The world in one street, Multicultural London"	//
	10	形容詞 (-ed, -ing)・副詞	//
	11	Writing: Describing my hometown (関係代名詞 who/that/which/where)	Writing: Describing my hometown
	12	同義語・対義語・類義語	復習・予習
	13	発表 (Describing my hometown)	//
	14	現在完了形、for and since、ever and never	//
	15	現在完了形 (続) : ハリーポッターの著者JK Rowlingについて	//
	16	中間テスト	//
	17	should/must	//
	18	過去完了形、物語の時制 (イソップ物語)	//
	19	文をつなげる "The boy who cried wolf" (オオカミ少年)	//
	20	Reading: "Dr Jekyll and Mr Hyde" (ジキルとハイド)	//
	21	Writing: Telling a story (文をつなげる・関係代名詞)	Writing: Telling a story
	22	Reading: "Romio and Juliet"	復習・予習
	23	発表 (Telling a story)	//
	24	感情を表す	//
	25	Writing: "Frankenstein" (it, they, this, which...)	Writing: a book/film review
	26	名詞+名詞、副詞+形容詞	復習・予習
	27	発表 (a book/film review)	//
	28	Writing: Discussing Pros and Cons (Social networking sites)	Writing: Discussing Pros and Cons
	29	動詞 (to do/～ing)、親へのemail	復習
30	発表 (自由トピック)	//	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Liz and John Soars 著 New Headway Intermediate Student's Book Fourth edition (Oxford University Press)など (詳しいことは、授業で説明します)</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回、HOMEWORKとして課題エクササイズを出すので、必ず取り組むこと。 ②欠席した場合は次回の授業までに欠席届を提出すること。欠席した場合も、HOMEWORK内容を各自で確認し、取り組むこと。 ③欠席した日に課題が提出できない場合、次回の授業が始まる前までに課題を提出すること (emailまたはメールBOXにて)。</p>
実践	<p>評価</p> <p>中間テスト・・・30% 期末テスト・・・40% Writingの課題 (4回分)・・・20% 授業への取り組み・宿題・・・10% *出席が3分の2に満たない・中間・期末テストを受けない場合、「不可」となります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目：英語V</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	Ch2を事前に読む
	4	Ch2	同上
	5	Ch3 When Was it Invented?	Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up	Ch4を事前に読む
	7	Ch4	同上
	8	Ch5 The Migration of the Monarch ...	Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	Ch6を事前に読む
	10	Ch6	同上
	11	Ch7 Foreign Language Study ...	Ch7を事前に読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Ch1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire	Ch9を事前に読む
	16	Ch9	同上
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	Ch11を事前に読む
	19	Ch11	同上
	20	Ch12 Sedona: Harmony with Nature	Ch12を事前に読む
	21	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	Ch13を事前に読む
	22	Ch13	同上
	23	Ch14 Universities: Past, Present and Future	Ch14を事前に読む
	24	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	Ch15を事前に読む
	25	Ch15	同上
	26	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Ch8-15	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Read Well, Write Better (2016年) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) 参考文献：プリントを随時使用する。</p>
	<p>学びの手立て 履修の心構え 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</p>
	<p>評価 出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業で学習した基本的な英語運用能力 (特にリーディングとライティング) を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
		テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” <p>* 授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [全学科(全学年)]	1年	Emai : l realrealgone123@yaoo. co. jp	

学びの準備	ねらい 英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含むベストセラーHOW-to 本 Skinny Bitch (2009) を購読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	メッセージ 多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキスト Skinny Bitch (2009) を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人なって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
	到達目標 現代アメリカ英文の長文を読むことができるようになる。現代アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。現代社会における食の安全と環境破壊などの社会問題を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Skinny Bitch Chater 1	リーディングの課題
	3	Skinny Bitch Chater 1	ライティングの課題
	4	Composition	リーディングの課題
	5	Skinny Bitch Chater 2	ライティングの課題
	6	Composition	リーディングの課題
	7	Skinny Bitch Chapaer 3	リーディングの課題
	8	Skinny Bitch Chapter 3 Supersize Me (2008)	リーディングとライティングの課題
	9	Skinny Bitch Chapaer 3	ライティングの課題
	10	Composition	リーディングの課題
	11	Skinny Bitch Chapter 4	リーディングの課題
	12	Skinny Bitch Chapter 4 King Corn (2008)	リーディングとライティングの課題
	13	Skinny Bitch Chapter 4	ライティングの課題
	14	Composition	リーディングの課題
	15	Skinny Bitch Chapter 5	リーディングの課題
	16	Skinny Bitch Chapter 5	ライティングの課題
	17	Composition	中間試験の準備学習
	18	Midterm Exam	リーディングの課題
	19	Skinny Bitch Chapter 6	リーディングの課題
	20	Skinny Bitch Chapter 6 Food Inc. (2009)	リーディングとライティングの課題
	21	Skinny Bitch Chapter 6	ライティングの課題
	22	Composition	リーディングの課題
	23	Skinny Bitch Chapter 7 & 8	ライティングの課題
	24	Composition	リーディングの課題
	25	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	26	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	27	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	28	Skinny Bitch Chapter 10 Forks Over Knives	リーディングとライティングの課題
	29	Skinny Bitch Chapter 10	リーディングの課題
30	Skinny Bitch Chapter 10	期末試験の準備学習	
31	Final Exam	ライティングの課題	

	<p>テキスト・参考文献・資料など Skinny Bitch Roy Fredman and Barnouin Running Press (2009)</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 履修の心得：「英語III」の単位を取得していること。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために：講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポートと（テキスト・映画の感想文）と各章毎のクイズ40% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験のの両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語 V、英語 VI、英語 VII、英語VIII のクラスを継続して受講して、英語力をアップさせるように努力してほしい。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。特に、Skinny Bitch はビジネス英語の語彙が頻出するので、TOEICテストを大学卒業までに受験してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-大田 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け または kaori@win.email.ne.jp	

学びの準備	ねらい この講義では、アメリカ国内のニュース番組“World News Tonight”から収録されたニュースをもとに講義を行う。アメリカの家庭でアメリカ人が実際に見ている生の新しいニュースを視聴することで、英語をより身近なものとして感じ、英語に対する興味を高めながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。英文を返り読みすることなしに、意味の切れ目ごとに、左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語を正しく聞き取ることができる。 ②英文を正しく読み取ることができる ③自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	のびのび育児は自由すぎ?	Unit1 予習および復習
	3	ドローンがホワイトハウスに侵入	Unit2 予習および復習
	4	動物たちのお見合い	Unit3 予習および復習
	5	ピザの空輸作戦	Unit4 予習および復習
	6	もしも宝くじが当たったら	Unit5 予習および復習
	7	オバマ大統領がインド公式訪問	Unit6 予習および復習
	8	サイバー犯罪から身を守るためには	Unit7 予習および復習
	9	行列ができる人気のハンバーショップ	Unit8 予習および復習
	10	完璧なリンゴとは	Unit9 予習および復習
	11	吹雪で交通事故多発	Unit10 予習および復習
	12	ロシア人スパイ逮捕される	Unit11 予習および復習
	13	はしかの大流行	Unit12 予習および復習
	14	スクールバスは本当に安全	Unit13 予習および復習
	15	米・キューバ、国交正常化へ	Unit14 予習および復習
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など ABC World News 18 KINSEIDO</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①ユニット毎の小テストをする。 ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。 ③10回以上の欠席は単位を与えない。 ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。 注意：第1週目ガイダンスにてグループ分けを行い、ユニットごとの訳の割り当てを行うので必ず出席すること！</p>
	<p>評価 ①小テスト 50% ②期末テスト 40% ③出席 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、英語で発信されている様々な情報に関心をもち、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	Ch2を事前に読む
	4	Ch2	同上
	5	Ch3 When Was it Invented?	Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up	Ch4を事前に読む
	7	Ch4	同上
	8	Ch5 The Migration of the Monarch ...	Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	Ch6を事前に読む
	10	Ch6	同上
	11	Ch7 Foreign Language Study ...	Ch7を事前に読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Ch1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire	Ch9を事前に読む
	16	Ch9	同上
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	Ch11を事前に読む
	19	Ch11	同上
	20	Ch12 Sedona: Harmony with Nature	Ch12を事前に読む
	21	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	Ch13を事前に読む
	22	Ch13	同上
	23	Ch14 Universities: Past, Present and Future	Ch14を事前に読む
	24	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	Ch15を事前に読む
	25	Ch15	同上
	26	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Ch8-15	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Read Well, Write Better (2016年) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) 参考文献：プリントを随時使用する。</p>
	<p>学びの手立て 履修の心構え 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</p>
	<p>評価 出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業で学習した基本的な英語運用能力 (特にリーディングとライティング) を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	2年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日米の法律の違い、社会背景の違い等を扱った読み物（各章500～550 words程度）を読み、文化的な相違や考え方の違いを認識する。また、法律に関するテーマで短い英文のエッセイを課し、ライティングの強化を図る。</p>	<p>各章の読み物には、日米の実際の事例を基にしたエピソードが含まれており、法律に関する話題に触れながら比較文化を深めるよい機会になるであろう。グループ発表では、メンバーで協力して準備してほしい。中間・期末試験の他に英文のエッセイを課すので、日頃から英字新聞や小説を読むなどして英語に触れるよう勧める。</p>
到達目標	<p>① Reading内容を正しく理解し、法律用語を正しく使える ② 割り当てられた英文のReadingの音読と和訳ができる（グループ発表） ③ レポート形式のライティングの指導に従い、英語でエッセイが書ける（テーマは法律に関するもの。A4用紙サイズ1～2枚程度）</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	Unit 1 予習
	2	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	Unit 1 Reading内容・単語予習
	3	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	Unit 1 Exercises 予習
	4	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	日米の児童保護について調べる
	5	Unit 2 Divorce (離婚)	Unit2 Reading内容/単語/練問予習
	6	Unit 2 Divorce (離婚)	婚前契約について調べる
	7	Unit 3 Wills (遺言)	Unit3 Reading内容/単語/練問予習
	8	Unit 3 Wills (遺言)	遺産相続について調べる
	9	Unit 4 Bankruptcy (破産)	Unit4 Reading内容/単語/練問予習
	10	Unit 4 Bankruptcy (破産)	日米の医療事情について調べる
	11	Unit 5 Breach of Contract (契約違反)	Unit5 Reading内容/単語/練問予習
	12	Unit 5 Breach of Contract (契約違反)	解雇事情について調べる
	13	Unit 6 Traffic Violations (交通違反)	Unit6 Reading内容/単語/練問予習
	14	Unit 6 Traffic Violations (交通違反)	交通違反事情について調べる
	15	Midterm Examination (中間試験)	Units 1-6 Review
	16	Unit 7 Products Liability (製造物責任)	Unit7 Reading内容/単語/練問予習
	17	Unit 7 Products Liability (製造物責任)	裁判員と陪審員について調べる
	18	Unit 8 Harassment in the Workplace (職場でのハラスメント)	Unit8 Reading内容/単語/練問予習
	19	Unit 8 Harassment in the Workplace (職場でのハラスメント)	職場のセクハラについて調べる
	20	Unit 9 Copyright Infringement on the Internet(インターネット上での著作権侵害) Group 8 発表	Unit9 Reading内容/単語/練問予習
	21	Unit 9 Copyright Infringement on the Internet (インターネット上での著作権侵害)	著作権法違反について調べる
	22	Unit 10 Anti-Stalking Law (ストーカー規制法)	Unit10 Reading内容/単語/練問予習
	23	Unit 10 Anti-Stalking Law (ストーカー規制法)	ストーカー規制法について調べる
	24	Unit 11 Rehabilitation of Juvenile Criminals (若年犯罪者の更生) Group 10 発表	Unit11 Reading内容/単語/練問予習
	25	Unit 11 Rehabilitation of Juvenile Criminals (若年犯罪者の更生)	若年犯罪者の更生について調べる
	26	Unit 12 Miscarriage of Justice (誤審・冤罪) Group 11 発表	Unit12 Reading内容/単語/練問予習
	27	Unit 12 Miscarriage of Justice (誤審・冤罪)	誤審・冤罪について調べる
	28	How to write an English essay (writing 指導) テーマを決める	予めテーマを考えてくる
29	” 下書きを書く	下書きを終える	
30	” 清書	編集作業と清書	
31	Final Examination (期末試験) + English essay 提出 (紙媒体)	Units 7-12 Review	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Legal Matters (CENGAGE Learning, 2010)</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修の心構え> リーディング内容を読み、単語調べや練習問題は必ず事前にやってくる。英語学習では予習が大事なので、単語帳を作るなど、ノート作りをすると学習効果上がるであろう。その積み重ねが評価につながる。練習問題の解答は全て学生にやってもらう。積極的な態度が望ましい。講義中の私語や携帯/スマホの使用を強く禁ずる。毎回、出欠を確認する。遅刻3回で1回の欠課とみなし、欠席が10回になると単位を与えない。 ・学びを深めるために> 教科書で扱っている法律のテーマに沿って、書籍やネット等でいろいろ調べると、さらに深い学びができるでしょう。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間試験 --- 30% (到達目標①) 2. 期末試験 --- 30% (到達目標①) 3. グループ発表 (リーディング内容の音読と和訳) --- 15% (到達目標②) 4. 英文レポート --- 15% (到達目標③) 5. 授業参加度 --- 10%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>レベル上の英語クラスや大学主催の英語合宿、英語スピーチコンテストへの参加等。また英検・TOEICにも挑戦して英語能力を磨いてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [全学科]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ペア活動を中心にしながら、英検2級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成の指導にも力を入れる。	メッセージ 総合的な英語力を高め、英検2級の取得を目指したい人は、一緒に勉強しましょう。
	到達目標 ・英検2級レベルの総合的な英語力の育成を目指す。 ・英語による自己表現力の向上を図る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	よくシラバスを読むこと
	2	Quiz, Grammar & Listening (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Grammar & Listening (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Grammar & Listening (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Grammar & Listening (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Grammar & Listening (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Grammar, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Grammar, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, Grammar, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (12)
	14	Quiz, Grammar, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (13)
	15	Quiz, Grammar, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (14)
	16	模擬テスト	これまでの総復習をすること
	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Grammar, Listening & Reading (11)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Grammar, Listening & Reading (12)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Grammar, Listening & Reading (13)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Grammar, Listening & Reading (15)	文で覚える単熟語 (20)
	23	スピーチテスト	スピーチ原稿の作成
	24	Quiz, Grammar, Listening & Reading (16)	文で覚える単熟語 (21)
	25	Quiz, Grammar, Listening & Reading (17)	文で覚える単熟語 (22)
	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)	文で覚える単熟語 (23)
	27	Quiz, Grammar, Listening & Reading (19)	文で覚える単熟語 (24)
	28	Quiz, Grammar, Listening & Reading (20)	文で覚える単熟語 (25)
	29	Quiz, Grammar, Listening & Reading (21)	文で覚える単熟語 (26)
30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)	これまでの総復習をすること	
31	期末テスト	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英検 2 級 文で覚える単熟語 (旺文社) 2. 講師指定の教科書をオリエンテーションの時間に連絡する。
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。 ・ ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・ 講義時間以外にも、Quizの準備等、英語学習に積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <p>出席状況、授業態度、クイズ、スピーチテスト、模擬・期末テストの結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で学んだことを活かし、英検準 1 級レベルの学習をする英語VIや、より高度な英語VII、英語VIIIを履修してほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 大学生が仕事等の様々な場面で、自分なりにおちついて対応できる英語力を培うことを目標とする英語VIのポリシーに則ります。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	後期	水2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [全学科]	1年	akooshiro@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できるようにする。	メッセージ 様々な活動を楽しみsつつ行っていきましょう！
	到達目標 英検準一級レベルの英語力をつける。	

到達目標	英検準一級レベルの英語力をつける。
------	-------------------

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Reading1& Others	
	3	Reading2& Listening1	
	4	Reading3& Listening2	
	5	Reading 4 & Listening 3	
	6	Reading5& Listening4	
	7	Reading6& Listening5	
	8	Listening6 & Others	
	9	Review1 & Others	
	10	Speaking 1 & Others	
	11	Speaking 2 & Others	
	12	Reading7 & Listening7	
	13	Reading8 & Listening8	
	14	Reading9 & Listening9	
	15	Reading10 & Listening10	
	16	Reading11 & Listening11	
	17	Reading12 & Listening12	
	18	Review2 & Others	
	19	Activity 1	
	20	Speaking 3 & Others	
	21	Speaking 4 & Others	
	22	Reading13 & Listening13	
	23	Reading14 & Listening14	
	24	Reading15 & Listening15	
	25	Reading16& Listening16	
	26	Reading17& Listenin17	
	27	Reading18 Listening18	
	28	Review4 & Others	
	29	Speaking 5 & Others	
30	Speaking 6 & Others		
31	Proficiency Test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 授業でお伝えします。 授業で随時お伝えします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 英語に触れ、使う機会を自からつくり活用してください。</p>
	<p>評価 授業態度、Review等での成果、クイズ等 総合的に評価します</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語Ⅶ、Ⅷの科目であり、英語を自信をもって用いることが次へのステージとなります。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るべく、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c. uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	メッセージ 満点保持者の担当教員自らほぼ毎回公開テストを受験し、問題傾向と対策を分析しています。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう！
	到達目標 ・7月24日の公開テストでクラス平均600点以上取ることを目指す。 ・TOEICテストを熟知し、自分の得意な分野とそうでない分野を分析できるようになる。 ・自分に合った学習方法を見つけ、学習を継続し、自立した学習者になる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	オリエンテーション (TOEIC学習についての心構え)
	2	Listening Part 2 (疑問文中心)
	3	Listening Part 2 (応答中心)
	4	Reading Part 5 (品詞問題)
	5	Reading Part 5 (品詞問題)
	6	Reading Part 5 (その他の問題)
	7	「やる単」 Review Unit 1-5、 Part 2 & 5復習
	8	中間テスト
		時間外学習の内容
		模試、Part 2予習
		Part 2復習、「やる単」 Unit 1
		Part 2問題作成、「やる単」 Unit 2
		Part 5復習、「やる単」 Unit 3
		Part 5復習、「やる単」 Unit 4
		Part 5問題作成「やる単」 Unit 5
		Part 2 & 5復習
		Part1予習、「やる単」 Unit 6
		Part 7予習、「やる単」 Unit 7
		Part 7復習、「やる単」 Unit 8
		Part 7復習、「やる単」 Unit 9
		Part 7問題作成、「やる単」 Unit 10
		Part3 & 4復習、「やる単」 復習
		Part 3&4問題作成、「やる単」 復習
		全パート復習、TOEIC課題
	テキスト・参考文献・資料など	
	テキスト：①TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編、Educational Testing Service <ETS>著 ②TOEICテストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&上原ちとせ共著 (アルク)	
	参考書：TOEICテスト直前の技術、ロバートヒルキ、ポールワーデン、ヒロ前田共著 (アルク) *参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版 (2015年11月出版) を勧める。 その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。	
	学びの手立て	
	・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回単語クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。 ・目標スコアを設定し、モチベーションを維持し、学習を継続すること。	
	評価	
	①授業態度、授業への参加・積極性 (25%) ②中間試験 (25%) ③単語クイズ (25%) ④個人目標達成度・Self Reflection (25%) を総合的に判断して評価する。	
	また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、TA (助手) として活動したものの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。	

学びの継続	次のステージ・関連科目 目標スコア取得後はさらに高得点を目指すか、英検などの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。出来れば海外旅行や留学なども視野に入れ、英語を活用する機会を増やしてほしい。将来の進路が決まっている学生は、その職種や業界で求められている英語レベルを把握し、それに向かって学習を進め、結果が出れば就職活動にも有利になるだろう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅷ	後期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、英語力向上を目指します。	メッセージ 中級以上（2級以上）の英語力を要します。
	到達目標 To acquire pre-1st grade level (TOEFL 500 Level) proficiency through listening, reading, speaking, and writing activities	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Drill 1	Out-of-Class Exercise 1
	3	Drill 2	Out-of-Class Exercise 2
	4	Drill 3	Out-of-Class Exercise 3
	5	Drill 4	Out-of-Class Exercise 4
	6	Quiz 1, Speaking 1	Out-of-Class Exercise 5
	7	Drill 5	Out-of-Class Exercise 6
	8	Drill 6	Out-of-Class Exercise 7
	9	Drill 7	Out-of-Class Exercise 8
	10	Drill 8	Out-of-Class Exercise 9
	11	Quiz 1, Speaking 2	Out-of-Class Exercise 10
	12	Drill 9	Out-of-Class Exercise 11
	13	Drill 10	Out-of-Class Exercise 12
	14	Drill 11	Out-of-Class Exercise 13
	15	Drill 12	Out-of-Class Exercise 14
	16	Quiz 1, Speaking 3	Out-of-Class Exercise 15
	17	Drill 13	Out-of-Class Exercise 16
	18	Drill 14	Out-of-Class Exercise 17
	19	Drill 15	Out-of-Class Exercise 18
	20	Drill 16	Out-of-Class Exercise 19
	21	Quiz 1, Speaking 4	Out-of-Class Exercise 20
	22	Drill 17	Out-of-Class Exercise 21
	23	Drill 18	Out-of-Class Exercise 22
	24	Drill 19	Out-of-Class Exercise 23
	25	Drill 20	Out-of-Class Exercise 24
	26	Quiz 1, Speaking 5	Out-of-Class Exercise 25
	27	Drill 21	Out-of-Class Exercise 26
	28	Drill 22	Out-of-Class Exercise 27
	29	Drill 23	Out-of-Class Exercise 28
30	Drill 24	Out-of-Class Exercise 29	
31	Quiz 1, Speaking 6	Out-of-Class Exercise 30	

学	テキスト・参考文献・資料など Worksheets will be distributed in class.
び の 実 践	学びの手立て (1) All the worksheets must be filed in a portfolio. (2) Out-of-class exercises must be done on a regular basis. (3) Most of in-class activities are to be done in pairs. (4) Class will be conducted in English.
	評価 Class participation 50% Quizzes/Out-of-class exercises 30% Portfolio 20%
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目